

明治中期における華族たちの写真趣味 —徳大寺公弘^{きんひろ}の写真帖に見るアマチュア写真家の活動分析—

沓 沢 博 行*

目 次

1. はじめに
 2. 徳大寺公弘写真帖の内容について
 - 2-1. 徳大寺公弘という人物
 - 2-2. 写真帖の概要
 - 2-3. 公弘の日記について
 - 2-4. 写真帖の内容分析
 3. 華族たちの写真趣味
 - 3-1. 大日本写真品評会の活動
 - 3-2. 華族写真会の活動
 - 3-3. 公弘の日記から見る交流
 4. おわりに
- 付 徳大寺公弘写真帖内容目録

キーワード 写真 明治中期 華族 アマチュア写真家 日記 鉄道 旅行

1. はじめに

東京都江戸東京博物館には、開館前より収集されてきた様々な写真が収蔵されている。著名な写真家によるものもあるが、市井の人々、いわゆるアマチュア写真家が撮影した写真も数多くあり、美術館とは異なった歴史博物館らしいコレクションを形成している。今回取り上げるのは、その中でも非常に変わった、明治中期に徳大寺公弘という華族¹⁾が撮影したアルバム14冊に及ぶ写真である。本稿では、写真帖の内容についてまとめ、その撮影者である徳大寺公弘の撮影活動について明らかにするとともに、その活動の中心となった写真団体と、それを取り巻く華族たちの関係についても若干の考察を加えたい。

*東京都江戸東京博物館学芸員

2. 徳大寺公弘写真帖の内容について

2-1. 徳大寺公弘という人物

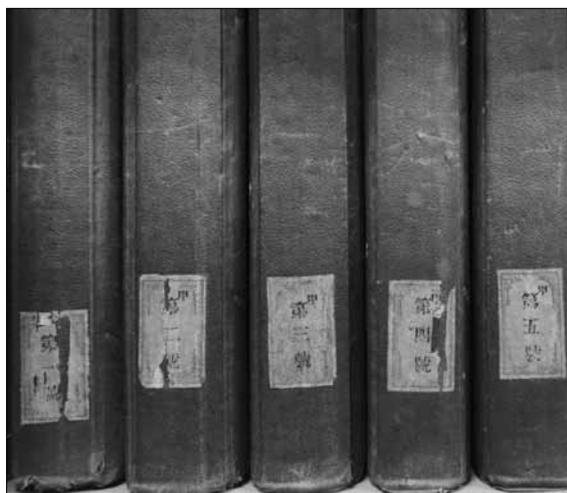
まずは、本稿の中心となる人物である徳大寺公弘について、その略歴を見てみよう。徳大寺家は、藤原北家兼家の弟閑院公季の子孫で、三条公実の五男実能（1096～1157）を祖として平安時代後期に創立された清華家の一つである。江戸期においては家禄411石を与えられていた。²⁾ 1884年（明治17）の華族令によって徳大寺家は侯爵に序されるが、公弘の父^{さねつね}実則が1871年（明治4）に侍従長となり、宮内卿、華族局長官、内大臣を兼任するなど明治天皇のもと功績を重ね、1911年（明治44）には公爵となった。なお、明治～大正期に大臣を歴任した元老、西園寺公望は実則の実弟である。

公弘はこうした華々しい功績のある父に比べると、言及している資料は乏しい。1863年（文久3）8月14日に実則の長男として生まれ、宮内省御用掛、明宮勤務を仰せ付けられた後、1887年（明治20）に英国へ留学している。1919年（大正8）には、父の逝去に伴い家督を相続し、公爵、貴族院議員となった。書画・園芸・句作など多彩な趣味を持っていたとされ、1937年（昭和12）1月4日、東京市渋谷区の自邸にて75歳で没している。³⁾ 夫人は前橋松平家の九代当主典則の四女久子で、子には戦後平安神宮宮司となった長子の公英らがいる。

彼の経歴については、上記のように公爵であったこと、貴族院の議員を勤めたこと以外には特筆すべきことは無い。一方で、私生活において、書画や園芸などの趣味に長じていたことは文献からも確認できる。実際彼は非常に多趣味であり、明治中期においてはその中心に「写真」があった。侯爵家（後に公爵）の跡取りとして生まれ、時間と経済面に大きなゆとりがあった彼は、一時期写真にのめり込み、道楽ともいえる生活を送っていた。当館が所蔵している写真帖は、そんな彼の写真趣味の賜物であり、また明治中期におけるアマチュア写真家の活動を明確に示す貴重な資料ともなっている。

2-2. 写真帖の概要

当館の写真帖は1985年（昭和60）、まだ博物館設立前の準備室時代に収蔵されたもので、14冊のアルバムで構成され、計707枚の写真が貼り込まれている。背表紙には1～18までの号数が振られたラベルが貼付されているが【図1】、その記述を見ると7、11、13、17号の4冊が欠けており、本来は18冊以上のセットになっていたものと思われる。また、18号には「京都」というラベルが別に付されており【図2】、内容も京都で撮影された写真のみで構成されている。撮影者の情報は収蔵時には不明であったが、ただ、写真帖の表紙裏に捺された「徳大寺」の丸印より【図3】、徳大



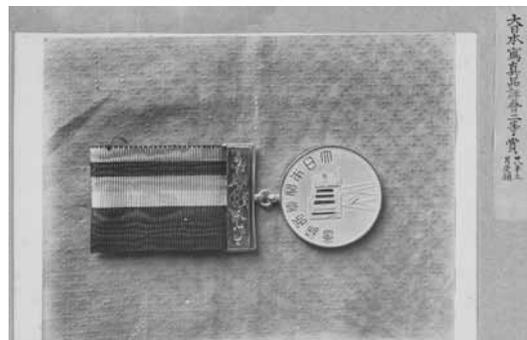
【図1】背表紙のラベル



【図2】「京都」のラベル



【図3】徳大寺の丸印



【図4】メダルの写真

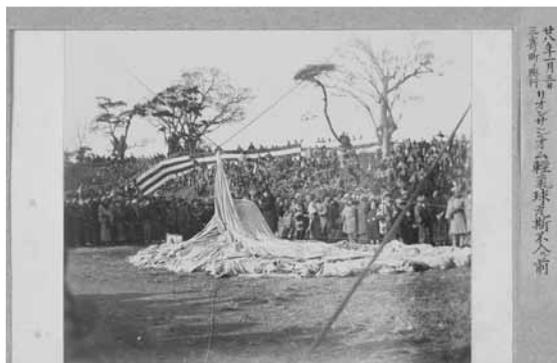
寺家旧蔵のものではないか、と認識されていたようだ。

そして収集してからかなりの時間が経過した後、筆者がこの写真帖の再整理を試みた際、写真の中に「大日本写真品評会二等賞 廿八年三月受領」という題箋が付されたものを発見した【図4】。大日本写真品評会については後ほど詳しく述べるが、同会が発行していた『写真雑誌』で当時の記録を辿ると、品評会の会員として活動していた人物として徳大寺公弘の名があった。また、大日本写真品評会に徳大寺公弘の名で出品された写真とタイトルが一致するものも複数確認できた。さらに、写真のタイトルに「千駄ヶ谷私邸」と冠したものが7点あったが、公弘はこの時期に実際千駄ヶ谷に私邸を所有していた。こうした事実から、写真帖が公弘に関わるものであることが概ね推定できた。そして調査を進める中で、国文学研究資料館に所蔵されている「山城国京都徳大寺家文書」という史料群の中に、公弘が書いた『吾家の歴史』と題する1894年（明治27）からの日記（以下、「日記」と表記）があることが分かり、その内容を分析したところ、写真帖の写真と、日記に書かれた旅行先や撮影した被写体などがかなりの割合で一致した。これらの調査により、この写真帖が、徳大寺公弘自身が撮影した明治27～30年頃の写真で構成されるものであることが分かった。その内容をまとめたものが、付表の目録となっている。

写真は一部に前後することがあるが、概ね撮影日順に貼り付けられており、1894年（明治27）の初頭頃から始まり、1897年（明治30）の10月頃の撮影で第16号が終わっている。日記の記述を見る限りそれ以降も公弘は撮影を続けているが、当館の写真帖には日記と一致するような写真は確認できなかった。最後の号となる第18号が京都の写真のみの別仕立てになっていることから、撮影日順ではおそらく第17号が最終になっているものと想定され、この写真帖は1898年（明治31）頃に何らかの理由で公弘が自身の今までの撮影写真をまとめたものと思われる。1898年（明治31）頃は、日記での撮影の記述が極めて少なくなっており、あくまで推測であるが、公弘が自身の活動に一区切りをつける意味で製作した可能性も考えられる。

写真帖に貼り付けられた707枚の写真は、大手札判程度のサイズで、鶏卵紙を厚紙に貼り付けたもの

が多数を占めるが、一部に臭素紙などを用いたものも含まれている。また、写真それぞれにタイトルもしくは撮影地の概要などを記した題箋が付与されており【図5】、記録を重視する撮影者の性格がうかがえる。そして、この題箋の情報が、写真と彼の日記とを結び付ける重要な手掛かりとなった。

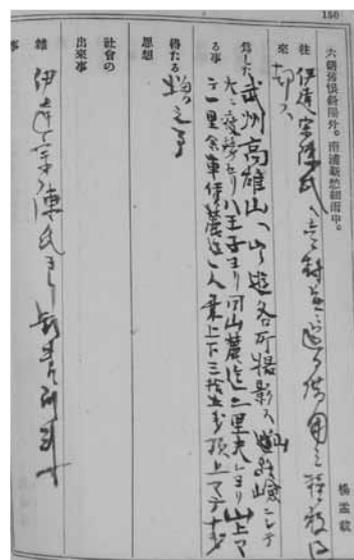


【図5】写真と題箋

2-3. 公弘の日記について

国文学研究資料館には、前述の通り「山城国京都徳大寺家文書」という史料群が所蔵されており、その中に公弘の日記が含まれている⁴⁾。日記は市販の日記帳を用いて1894年（明治27）から1917年（大正6）まで書き残されている。1894年のものには見開きに印刷された「吾家の歴史」の題字の下に墨書で「第壺」と記されていることから、この時より日常を書き留め始めたものと思われる。

日記は、往来・為したる事・得たる思想・社会の出来事・雑事の項目にわけて記入するようにあらかじめ印刷されている市販品を用いているため、簡略に日々の事項を書き記したものが殆どである。自身の行動については「為したる事」の欄に1～2行程度書いたものが大半だが、撮影に行った日はその行程などを詳細に記す場合もある。例えば1894年（明治27）5月24日付の日記には以下のように記述している【図6】。



【図6】明治27年5月24日の日記
国文学研究資料館所蔵

武州高尾山へ出遊各所撮影ス 山路峻ニシテ大ニ疲労セリ 八王子ヨリ同山麓迄二里夫レヨリ山上マテ一里余 車賃麓迄一人乗上下三拾五銭頂上マテ十銭増える⁵⁾



【図7】武州高尾山登山口

撮影地のほか、道中乗った人力車の車賃まで記す細かさで、短いながら当時の様子がよく伝わる。この時撮影した写真のうち1点を【図7】として付した。

日記を見ると、公弘が非常に多くの時間を撮影に割っていたことがわかる。記述と残された写真をもとにカウントすると、一番多い明治27年には、1年でおおよそ50日撮影に赴いている。鉄道を使って遠方に撮影旅行へ出向くこともしばしばで、移

動と撮影に費やされる時間、そして費用を考えれば、驚くべき日数といえよう。

なお、それとは別に1901年（明治34）から1903年（明治36）まで「撮影日記」、1889年（明治22）から1912年（大正1）まで「園芸日記」をそれぞれ付けて残している。「撮影日記」には現像の方法や現像液の配合、仕上がりなどについても詳細に記しており、彼の写真に対する研究心がうかがえる。残念ながら当館の写真帖はこの撮影日記とは対応していないが、もし対応する写真が見つければ、当時のアマチュア写真家の活動に対する理解をより深めるものとなるであろう。

2-4. 写真帖の内容分析

ここでは付表の目録を作成する中で分かった、写真帖の内容と被写体の傾向について若干の分析を行いたい。707点の写真は、おおまかに分けると以下の様な撮影意図を持つ写真に区分できる。

- ①観光・旅行の折に撮影した写真
- ②品評会等への出品を企図した写真
- ③イベントを撮影した写真
- ④園芸に関わる写真
- ⑤記録を目的とした写真
- ⑥技術的検証を行った写真

まず①についてであるが、全体としてはこれに区分される写真が一番多い。前述の通り公弘は頻繁に旅行に出ており、そこで写真撮影を行っている。旅行先は著名な寺社や史跡、花（特に桜）の名所が多く、時には数日に渡る行程となることもあった。また、撮影が主となる旅行と、妻を伴った観光が主であると思われる旅行の両方が日記では確認できる。

移動には鉄道のほか人力車や馬車も使い、それぞれを乗り継ぎながらおよそ華族が踏み入れないであろう山奥などへも赴いている。こうしたアクティブな活動の背景には、公弘が鉄道を愛好していたという事実があったようだ。彼は当時鉄道の延伸を担っていた日本鉄道株式会社の株券を所有していたほか、日記にも「川越鉄道本日ヨリ全通ス」（『日記』明治28年3月21日付）のような鉄道路線の延伸に関する記述が見られる。明治27年11月22日には鉄道で青梅に行き写真を撮影している【口絵7】が、その際乗降した青梅駅は、同月19日に開業したばかりの新駅であった。

午前五時十八分半込発汽車ニ乗シ青梅ニ至ル 夫レヨリ人車ヲ雇ヒ垢離滝萬年橋ヲ見物ス 途次ノ景色実ニ絵画ノ如シ 山中ノ紅葉格段ニ美ナリ（『日記』明治27年11月22日付）

新たな路線の開業に合わせて旅行に出るということを公弘は何度も行っており、鉄道と写真という2つの趣味が結びついた結果、これほど多くの写真を残すに至ったのだろう。

次に②に区分されるものである。写真の中には、河川を行く舟や、農夫の耕作する姿、あるいは魚を捕る様子などを撮影したものが何点か確認できる。それらには「江戸川帰帆【口絵11】」「小流捕魚」「橋下捕魚」などの簡便なタイトルが付けられ、撮影地が不詳のものも多く、①の区分とは明らかに異なる写真となっている。これはおそらく大日本写真品評会への出品を目的に撮影されたのではないかと思われる。品評会に出品された写真の題名は、品評会の発行する機関誌であった『大日本写真品評会雑誌』⁶⁾ および『写真雑誌』⁷⁾にて確認ができるが、その中には「舟」や「漁夫」、「農夫」などをモチーフとしたものを多く発見できる。例えば第2回常会での品評会では鹿島清三郎が「由比ヶ濱漁舟浪に漂ふの圖」、近藤操が「小川に於ける捕魚の圖」を出品している⁸⁾ ほか、第3回では伊達宗陳が「江戸川帰帆」「汽船疾走の圖」、戸田氏共が「相州押切川漁撈」を出品している。⁹⁾ 伊達宗陳の「江戸川帰帆」は、第3回の品評において1位になっており、まったく同じ題名で公弘も写真を残している。推測の域を出ないが、品評会の中での流行や、好評価を得た作例に影響を受けてこれらの写真を撮ったとしても不思議は無いだろう。

③については、日清戦争の祝勝に関わる写真が多く残されている。上野公園の不忍池に浮かべられた模造清國軍艦や、各地の凱旋門【口絵9】、戦利品の陳列所など、写真記録があまり残っていないものも撮影されており貴重である。これらの写真は親戚などへ郵送したとの記述が日記にはあり、見に行けない人へ様子を伝える意図もあったようだ。

④については、園芸日記を別に付けていた公弘らしいものといえるだろう。開花の期間に限られ、年ごとに姿も変わる草花を写真として記録したいと考えるのは園芸好きとしては自然な話で、公弘は各地の植木屋に自ら赴き、牡丹や花菖蒲、桜草など様々な草花を撮影している【口絵6】。品評などには出品されないであろう極めて私的な写真である。

⑤はさらに私的な記録で、明治天皇の大婚二十五年祝典で下賜されたい菓子や、前述の品評会のメダル、自身の居室などを撮影している。現代の我々はこうしたモチーフを携帯電話、スマートフォンなどでよく撮影しているが、明治中期という時代においてはこうした写真は稀であろう。

そして、2点のみだが、「針孔写真（ピンホール写真）」「電光写真（フラッシュ撮影）」と題された写真があった。これらは撮影技術としての検証を目的としたものと思われることから、⑥の区分とした。

なお、この写真帖には人物の肖像写真が収録されていない。日記の記述には、家族や親族を撮影したという記述はあり、また、知己の華族より依頼を受けて撮影することもあったようだが、そうした写真は残されていなかった。当時の写真の撮影目的として最も一般的であったであろう肖像写真が全く含まれていないというのも、この写真帖の特徴である。

さて、このような区分で写真帖を眺めた時感じるのは、まず公弘の趣味の広さであろう。この時期はまだ家を相続する前で、時間的に大きなゆとりのあった彼は、とにかく趣味に時間を費やしていた。散歩をし、旅行をし、そして園芸にも取り組んだ。そしてそれらを繋ぐ趣味として写真があった。この写真帖はそんな明治中期を生き抜いた華族の趣味の集大成ともいえるものである。肖像写真が収められていないという点は、写真帖が公弘の趣味に基づいたものであるという印象をさらに強くする。また、記録に重点を置くスナップ撮影的な写真と、作品としての投稿を想定した写真とが、題名からも区別されてい

るというのも興味深い点である。本稿では細かい分析まで踏み込めないが、彼が品評会向けに撮影した写真と、同時代の他の撮影者の写真とを比較することで、当時のアマチュア写真家が求めた「芸術」としての写真表現なども明らかになるように思われる。

現段階では雑駁な分析に留まるが、明治中期のアマチュア写真家が自身の趣味趣向に即した自由な撮影を行っていた事実は特筆すべきことだろう。

3. 華族たちの写真趣味

3-1. 大日本写真品評会の活動

ここでは徳大寺公弘という人物がこれほど写真撮影にのめり込むこととなった、その背景にある2つの写真団体について触れておきたい。まずは「大日本写真品評会」についてである。同会はアマチュア写真家が活動の主となった最初期の写真団体で、1893年（明治26）6月に鹿島清兵衛らを発起人として設立された。設立時の会頭には徳川篤敬侯爵、副会頭に戸田氏共伯爵が就き、彼らの影響もあって多くの華族が名誉会員として参加している。当時華族の間で、写真が趣味として普及しつつあったことも背景にあるだろう。会の主な活動は「常会」と呼ばれる会合の開催で、品評会規則の第一条に「本會ハ同志相會シ毎會各自ノ撮影セル寫眞ヲ出品シテ互ニ品評ヲ為シ併テ研究ノ報告並ニ経験セル事項ニ就キ談話ヲ為スヲ以テ目的トス」¹⁰⁾とある通り、そこでは写真技術に関する報告のほか、会員同士の出品と無記名投票による作品批評が行われていた。また、年に一度「年会」も開かれ、常会での品評の累積高得点者が別途表彰された。

公弘は明治27年1月21日に開かれた第4回常会より会員として参加し¹¹⁾、確認できる最後の常会である第17回まで、会への参加と写真の出品を続けている。常会での写真出品が会員活動の中心とされていた一方、義務では無かったようで、全体の会員数からいえば出品者は多くなかった。出品者には日下部金兵衛や江木松四郎、中島待乳（精一）ら職業写真家も名を連ねており、アマチュアとはいえ相応の技術が無ければなかなか出品には至らなかったのだろう。そんな中で公弘は果敢に出品を続けていた。彼の写真への情熱が分かる記述が、日記にも残されている。

公弘は明治27年4月8日に開かれた第1年会において、「半身婦人」なる作品を初めて出品し、全体で4位となる11点の票を得た¹²⁾。しかし、同点の作品が他に3つあり、くじによる抽選が行われた結果、受賞は鹿島清三郎の作品となり、公弘は受賞の榮譽を得られなかった。当日の日記にはその経緯が書かれた上で「不公平、不公平」と綴っており、彼の憤りがみえる。そして翌日公弘は、会幹事の小倉俊司へ会員証を突き返し、品評会を退会してしまう。非常に子供じみた行動ではあるが、それだけ写真への思いが強かったのだろう。結局その後、名誉会員で公弘と親しい友人でもあった相良頼紹子爵の取り成しで公弘は会に復帰し、活動を継続することとなった。この出来事の影響か明治27年6月に刊行された同会の機関紙『大日本写真品評会雑誌』の会員名簿には公弘の名前が無い。同時期に入会した亀井慈明侯爵らの名前はあることから、この事件が影響しているものと思われる。

その後も欠かさず出品を続ける公弘だったが、品評ではあまり票は得られず、上位になることは少な

かった。しかし、継続が力となったのか、1895年（明治28）3月23日、烏森湖月楼にて行われた大日本写真品評会第二年会において「大宮公園雪景」、「萬年橋【口絵2】」の二葉を出品し初めて二等賞を受賞した。この年会に関する情報を記載した『写真雑誌』が確認出来ない¹³⁾ ため、どちらの作品が受賞したのかなど詳細は不明だが、この時貰ったメダルを撮影していることから、受賞自体は間違いないだろう。この時の喜びたるや大変なものだったようで、翌日の日記には

昨日写真会ニ於テ受賞ニ付当亥兩人ニ仲居兩人、梅吉、小使一同へ酒肴料並ニ酒肴ヲ遣ス
（『日記』明治28年3月24日付）

とあるように、使用人にまで受賞記念の大盤振舞をしている。

やがて品評会の活動は中心人物であり、大口のパトロンでもあった鹿島清兵衛の没落により勢いを失い、明治30年5月15日に開かれた第17回常会を最後に、事実上の活動を終了している。最後の常会では、本部（東京）で出品していたのはわずか6名であったが、そこにも華族としては唯一人公弘の名前がある¹⁴⁾。

前述の通り、明治31年以降公弘の日記から撮影に関する記述が極端に少なくなる。そして写真帖には、明治27～30年頃までという、ちょうど公弘の品評会での活動と重なる時期の写真が収録されている。おそらく、品評会の活動とその消滅が、写真帖を作成する契機となったことは間違いのないであろう。

3-2. 華族写真会の活動

公弘が所属していたアマチュア写真団体にはもう一つ、「華族写真会」がある。こちらは文字通り華族のみが参加した団体で、大日本写真品評会と同じく明治26年に設立されたとされる。日記の記述を見る限りでは、活動としては料亭などで定期的な会合を行うほか、その近隣で合わせて撮影会などを実施していたようだ。

第九回華族写真会池上光明館ニ於テ開会 会幹有馬頼萬伯松平康莊侯ナリ 前十時半ヨリ出席シ同所近傍ヲ撮影ス 出席人員八名ナリ（『日記』明治27年5月27日付）

しかし、公弘はこちらの活動にはあまり積極的ではなかったようで、到来する開催案内の葉書に対し度々断りを入れている。また、幹事は会合ごとに代わっていたようだが、公弘が幹事となった様子はない。品評会へ盛んに出品し、他の写真愛好家たちと競い合っている公弘にとっては、物足りない活動だったのかもしれない。興味深い点として、日記での華族写真会に関する記述は、明治28年2月12日付のものを最後に登場しなくなる。代わって、「華影会」なる団体が言及されるようになる。

第十八回華影会幹事小笠原忠忱侯ヨリ郵書到来（来ル十八日羽田獵場ニ於テ開会）
（『日記』明治28年11月14日付）

開催の回数が華族写真会のものと同じように思われる数であること、華族が幹事として運営していることなどから、この会は華族写真会がその名を変えたものであると推定される。活動内容も、会合を開き、撮影会をするなどほぼ同一とみられる。

なお、「華影会」は明治30年代後半から40年代にかけて『華影』という同人誌を発行していた団体としてもその名が登場する。『華影』は、華族の投稿による写真が掲載された写真誌で、洋画家黒田清輝や写真家小川一真といった専門家が掲載写真の採点・批評を行い、発行された同誌は会員の間でのみ回覧された。この時期が異なる二つの「華影会」は、公弘の日記に登場する方は明治28年に第18回の会合が開かれているのに対し、『華影』の発行を行っていた方は明治36年11月9日に「第4回」の打合せを行っている¹⁵⁾ ことから、全く同一のものというわけでは無さそうだ。公弘が後の華影会に参加していないことも合わせて考えると、間に何らかの中断や刷新を挟んでいると考えるのが妥当だろうか。この点については写真帖の内容からは大きく外れるため、別稿を期したい。

3-3. 公弘の日記から見る交流

上記のような写真団体の活動を通して、公弘は写真撮影に邁進していたが、会を離れた場所でも写真を通じた様々な交流があったことが日記の記述からうかがえる。例えば日記には度々、当時著名な写真家であった中島待乳の名が登場する。公弘は彼に写真の修整を依頼し、品評会に備えていた。また、写真技術に関する質問をすることもあったようだ。

中島待乳へ種板三葉修整ニ遣ス 過日中島待乳へ修正ヲ依頼シタル種板悉皆出来

(『日記』明治27年2月7日付)

中島待乳氏来訪 過日写真会ニテ撮影ノ写真持参ノ事

待乳氏ニ面談写真術ニ付種々質問シ大ニ益ヲ得タル (『日記』明治27年2月10日付)

待乳との交流を通じて、公弘は品評会で競っていくための知識と技術を得ていた。一方で、待乳にとってみれば華族である公弘は上客だったのであろう。こうした職業写真家と華族との交流が、この時代華族の間に写真趣味が広がる一つの要因になっていたと思われる。

また、知己の華族との間で写真集や写真機材のやり取りを行っていたことも日記には記されている。

有馬頼萬伯邸へ行向過日譲受ノ手提暗箱¹⁶⁾ 代金ヲ払渡ス 帰路待乳氏へ立寄ル

(『日記』明治27年6月17日)

レントゲン投影写真帖壹冊並ニ壺封相良子爵へ差出ス (『日記』明治29年5月28日付)

華族同士でもまた、写真を通じた種々の交流があり、新しい技術や情報が共有される関係が形成されていた。これら人的交流は、華族たちの写真趣味を支え、盛り上げる土台となっていたものと考えられる。

4. おわりに

最後に、本稿で取り上げた徳大寺公弘の写真帖について、その特徴と意義をまとめたい。まずは収められた写真自体の特徴である。明治27～30年頃という早い時期に撮影されたもので、かつ被写体や撮影時期などの情報が、写真帖の題箋と日記の形で豊富に残されている点は特筆すべきである。そして、スナップ写真的なものも含め、当時の職業写真家が撮らないような風景、対象も多く含まれている。この時代の研究や展示を行う上で、これから重要な資料となっていくことが期待されるだろう。

他方で、この写真帖が一人のアマチュア写真家により撮影された、一連のものだという事実も意義深い。華族たちが初期のアマチュア写真界において重要な位置を占めていたことはよく知られているが、残された作例は決して多くない。写真団体への出品なども含め、アマチュア写真家の活動が概観できる資料としても、貴重なものと言える。

今後、内容のさらなる分析と展示などを通じた公開を進め、研究の一助となるよう努めていきたい。

【註】

- 1) 徳大寺公弘は本稿で言及する明治中期の時点ではまだ襲位しておらず、厳密な意味での華族では無いが、その家族は通常各家の爵位に応じた華族としての礼遇を受けていたため、便宜上華族という呼称を用いている。
- 2) 『平成新修旧華族家系大成 下巻』(霞会館華族家系大成編輯委員会/編 1996年) p.174～175
- 3) 『日本人名大事典 第四巻』(平凡社/発行 1937年) p.419
- 4) 『史料館所蔵史料目録 第68集 山城国諸家文書目録(その二)』(史料館/編 1999年) p.85～94
- 5) 本稿において斜字で表記しているものは、「徳大寺公弘日記帳」からの引用である。
- 6) 『大日本写真品評会雑誌』(大日本写真品評会事務所/発行 1894年6月)
- 7) 『写真雑誌』(大日本写真品評会/発行)
同誌は『大日本写真品評会雑誌』が改称したもので、2号から15号まで発刊された。
- 8) 『大日本写真品評会雑誌』 p.7～8
- 9) 『大日本写真品評会雑誌』 p.9
- 10) 『大日本写真品評会雑誌』 p.19
- 11) 『大日本写真品評会雑誌』 p.10～11 名誉会員として入会した記述がある。
- 12) 『大日本写真品評会雑誌』 p.15
- 13) 『写真雑誌 第6号』が該当するものと思われるが、所蔵している館が管見の限り確認できない。
- 14) 『写真雑誌 第15号』 p.3
- 15) 齊藤洋一「華族写真同人誌『華影』考 - 明治末期華族写真愛好家の活動と小川一真・黒田清輝との交流を巡って-」『美術研究411号』(東京文化財研究所企画情報部/編 2014年2月11日) p.378より引用。
また、華族と写真団体との関わりについては、岡塚章子「明治期の写真団体と華族 - 小川一真の事績からの考案-」『美術研究412号』(東京文化財研究所企画情報部/編 2014年3月31日)も参照されたい。
- 16) 手提暗箱(函)は小型のボックスカメラのことと思われる。まだ国産の製品はなかったため貴重だった。

徳大寺公弘写真帖 内容目録

以下は、東京都江戸東京博物館に収蔵されている徳大寺公弘撮影の写真帖について、その内容等をまとめた目録である。目録の作成においては、国文学研究資料館に所蔵されている「山城国京都徳大寺家文書」に属する、徳大寺公弘の日記「吾家の歴史」（以下、徳大寺公弘日記帳）の記述を参考とした。

なお、写真帖の号数と、付されている当館の資料番号との対照は下記の通りである。

| | | | |
|-----|----------|------|----------|
| 第一号 | 85200894 | 第九号 | 85200901 |
| 第二号 | 85200895 | 第十号 | 85200902 |
| 第三号 | 85200896 | 第十二号 | 85200903 |
| 第四号 | 85200897 | 第十四号 | 85200904 |
| 第五号 | 85200898 | 第十五号 | 85200905 |
| 第六号 | 85200899 | 第十六号 | 85200906 |
| 第八号 | 85200900 | 第十八号 | 85200907 |

凡例

通 番：写真帖に収められている写真の通し番号。著者が付与した。

冊 番 号：写真帖の背に付されたアルバム番号。

画像番号：アルバム毎の写真番号。著者が付与した。

なお、題箋のみが存在し写真が失われているものについては、番号に代えて「写真無し」とした。

表 題：アルバムの題箋に記述された表題を入力した。

題箋が失われていたものについては、写真の内容を括弧書きで入力した。

なお、表記については原文のまま記述している。

撮影日時：『徳大寺公弘日記帳』の記述を元に、判明した撮影日時を入力した。

直接の記述が無いが、同日に近隣を訪れているものについては、

括弧書きで日時を入れた。なお、日記に関連する記述が無かったものについては、おおまかな時期のみを入力した。

備 考：撮影内容に関する補足、および題箋に追加で付されていた公弘自身による説明について入力した。また、口絵および本文内で掲載した図版についてその番号を入れた。

徳大寺公弘写真帖 内容目録

| 通番 | 冊番号 | 画像番号 | 表題 | 撮影日時 | 備考 |
|----|-----|------|-----------------|------------|---|
| 1 | 1 | 1 | 佐野五龍館 静岡縣下 | 明治27～30年頃 | |
| 2 | 1 | 2 | 佐野ノ瀑園 静岡縣下 | 明治27～30年頃 | 明治24 (1891) 年、ホテルなどの洋館が建設され、「佐野瀑園」(現裾野市中央公園)として東海の名勝地として知られていた。 |
| 3 | 1 | 3 | 佐野ノ瀑園 静岡縣下 | 明治27～30年頃 | |
| 4 | 1 | 4 | 佐野ノ瀑園 静岡縣下 | 明治27～30年頃 | |
| 5 | 1 | 5 | 佐野景ヶ島 静岡縣下 | 明治27～30年頃 | |
| 6 | 1 | 6 | 愛松園 大磯百足屋別荘 | 明治27～30年頃 | |
| 7 | 1 | 7 | 大磯海水浴 神奈川縣下 | 明治27～30年頃 | |
| 8 | 1 | 8 | 目黒新富士常磐樓 | 明治27～30年頃 | |
| 9 | 1 | 9 | 目黒祐天寺 | 明治27～30年頃 | |
| 10 | 1 | 10 | 目黒祐天寺 | 明治27～30年頃 | |
| 11 | 1 | 11 | 羽田穴守稲荷 | 明治27～30年頃 | 口絵4 |
| 12 | 1 | 12 | 川崎大師 | 明治27～30年頃 | |
| 13 | 1 | 13 | 靖国神社庭園 | 明治27～30年頃 | |
| 14 | 1 | 14 | 久留島子乗馬 | 明治27～30年頃 | |
| 15 | 1 | 15 | 亀戸藤花 | 明治27～30年頃 | |
| 16 | 1 | 16 | 小流捕魚 | 明治27～30年頃 | |
| 17 | 1 | 17 | 雑司ヶ谷鬼子母神 | 明治27～30年頃 | |
| 18 | 1 | 18 | 池上本門寺 | 明治27～30年頃 | |
| 19 | 1 | 19 | 矢口村新田神社 | 明治27～30年頃 | |
| 20 | 1 | 20 | 谷中天王寺五重塔 | 明治27～30年頃 | |
| 21 | 1 | 21 | 大宮氷川神社 埼玉縣下 | 明治27～30年頃 | |
| 22 | 1 | 22 | 大宮氷川神社 埼玉縣下 | 明治27～30年頃 | |
| 23 | 1 | 23 | 堀ノ内妙法寺 | 明治27～30年頃 | |
| 24 | 1 | 24 | (堀ノ内妙法寺祖師堂) | 明治27～30年頃 | 題箋無し |
| 25 | 1 | 25 | 植文菊花 | 明治27～30年頃 | |
| 26 | 1 | 26 | 小石川後樂園 | 明治27～30年頃 | |
| 27 | 1 | 27 | 小石川後樂園 | 明治27～30年頃 | |
| 28 | 1 | 28 | 小石川後樂園 | 明治27～30年頃 | |
| 29 | 1 | 29 | 小石川後樂園 | 明治27～30年頃 | |
| 30 | 1 | 30 | 田夫蓮根ヲ掘ル | 明治27～30年頃 | |
| 31 | 1 | 31 | 番町松平家座敷 | 明治27～30年頃 | |
| 32 | 1 | 32 | 番町松平家座敷 | 明治27～30年頃 | |
| 33 | 1 | 33 | 番町松平邸内稲荷社 | 明治27～30年頃 | |
| 34 | 1 | 34 | 遊就館 | 明治27～30年頃 | |
| 35 | 1 | 35 | 根津権現 | 明治27～30年頃 | |
| 36 | 1 | 36 | 根津権現 | 明治27～30年頃 | |
| 37 | 1 | 37 | 官邸 座敷 | 明治27～30年頃 | |
| 38 | 1 | 38 | (官邸か?) | 明治27～30年頃 | 題箋無し |
| 39 | 1 | 39 | 洋館婦人室 | 明治27～30年頃 | 縦位置 |
| 40 | 1 | 40 | 目黒不動 | 明治27～30年頃 | |
| 41 | 1 | 41 | 西新井大師 | 明治27年1月8日 | |
| 42 | 1 | 42 | 西新井大師 | 明治27年1月8日 | |
| 43 | 1 | 43 | 綾瀬川 | 明治27年1月8日 | |
| 44 | 1 | 44 | 綾瀬川 | 明治27年1月8日 | |
| 45 | 1 | 45 | 六郷鉄橋 | 明治27年1月14日 | |
| 46 | 1 | 46 | 雪中ノ庭園 洋官東側 | 明治27～30年頃 | |
| 47 | 1 | 47 | 羽田ノ渡シ | 明治27年1月14日 | |
| 48 | 1 | 48 | 羽田ノ漁舟 | 明治27年1月14日 | |
| 49 | 1 | 49 | 久留島子庭園 | 明治27～30年頃 | |
| 50 | 1 | 50 | 小流遊泳 | 明治27～30年頃 | |
| 51 | 1 | 51 | 夜會盛花 明治廿七年一月廿四日 | 明治27年1月24日 | |
| 52 | 1 | 52 | 上野ノ遠景 | 明治27～30年頃 | |
| 53 | 2 | 1 | 夜會盛花 廿七年一月三十一日 | 明治27年1月31日 | |

| | | | | | |
|-----|---|----|---------------------|-------------|--|
| 54 | 2 | 2 | 綾瀬川 臭素紙引伸印画 | 明治27年1月8日 | |
| 55 | 2 | 3 | 久留島子邸 | 明治27年2月3日 | |
| 56 | 2 | 4 | 不詳 (屋敷) | 明治27～30年頃 | 題箋無し |
| 57 | 2 | 5 | 不詳 (屋敷) | 明治27～30年頃 | 題箋無し |
| 58 | 2 | 6 | 田家春望 | 明治27～30年頃 | |
| 59 | 2 | 7 | 日本橋區靈岸橋 | 明治27～30年頃 | |
| 60 | 2 | 8 | 靖国社内庭園 | 明治27～30年頃 | |
| 61 | 2 | 9 | 山王祭 | (明治29年6月5日) | |
| 62 | 2 | 10 | 大日本写真品評会二等賞 廿八年三月受領 | 明治28年3月 | 本文内図4。大日本写真品評会第二年会に「大宮公園雪景」「萬年橋」の二葉を提出し受領したもの。 |
| 63 | 2 | 11 | 大日本写真品評会二等賞 裏面 | 明治28年3月 | 大日本写真品評会第二年会に「大宮公園雪景」「萬年橋」の二葉を提出し受領したもの。 |
| 64 | 2 | 12 | 杉田珠簾梅 神奈川縣久良岐郡 | 明治27年2月19日 | |
| 65 | 2 | 13 | 海岸ノ漁舟 杉田 | 明治27年2月19日 | |
| 66 | 2 | 14 | 蒲田之梅園 | 明治27年2月19日 | |
| 67 | 2 | 15 | 川崎梅園 | 明治27年2月19日 | |
| 68 | 2 | 16 | 川崎梅園 | 明治27年2月19日 | |
| 69 | 2 | 17 | 薔薇新盆菊 | 明治27～30年頃 | |
| 70 | 2 | 18 | 小向井御幸梅 | 明治27年3月12日 | |
| 71 | 2 | 19 | 小向井 中ノ梅屋敷 | 明治27年3月12日 | |
| 72 | 2 | 20 | 小向井御幸梅 | 明治27年3月12日 | |
| 73 | 2 | 21 | 小向井 奥ノ梅屋敷 | 明治27年3月12日 | |
| 74 | 2 | 22 | 亀戸臥龍梅 | 明治27年3月13日 | |
| 75 | 2 | 23 | 紅東梅園 小村井 | 明治27年3月16日 | |
| 76 | 2 | 24 | 紅東梅園 小村井 | 明治27年3月16日 | |
| 77 | 2 | 25 | 紅東梅園 小村井 | 明治27年3月16日 | |
| 78 | 2 | 26 | 紅東梅園 小村井 園内馥都亭 | 明治27年3月16日 | |
| 79 | 2 | 27 | 紅東梅園 小村井 園内馥都亭 | 明治27年3月16日 | |
| 80 | 2 | 28 | 木下川梅園 | 明治27年3月13日 | |
| 81 | 2 | 29 | 木下川梅園 | 明治27年3月13日 | |
| 82 | 2 | 30 | 向島百花園 | 明治27年3月16日 | |
| 83 | 2 | 31 | (馬車) | 明治27～30年頃 | 題箋無し |
| 84 | 2 | 32 | 上野公園花曇 | 明治27～30年頃 | |
| 85 | 2 | 33 | 大宮公園 | 明治27～30年頃 | |
| 86 | 2 | 34 | 大宮公園内松友館 | 明治27～30年頃 | 松友館は1893年(明治26)5月21日開業 |
| 87 | 2 | 35 | 大宮公園内萬翠樓 | 明治27～30年頃 | |
| 88 | 2 | 36 | 水戸上市々街 茨城縣 | 明治27年3月23日 | |
| 89 | 2 | 37 | 水戸上市々街 仙波沼眺望 | 明治27年3月23日 | |
| 90 | 2 | 38 | 水戸上市々街 好文亭眺望 | 明治27年3月23日 | |
| 91 | 2 | 39 | 水戸上市々街 櫻山ノ眺望 | 明治27年3月23日 | |
| 92 | 2 | 40 | 水戸上市々街 常磐神社 | 明治27年3月23日 | |
| 93 | 2 | 41 | 水戸上市々街 津ノ國屋 | 明治27年3月23日 | |
| 94 | 2 | 42 | 多摩川捕魚 | 明治27～30年頃 | |
| 95 | 2 | 43 | 我室 | 明治27～30年頃 | |
| 96 | 2 | 44 | 飛鳥山 | 明治27～30年頃 | |
| 97 | 2 | 45 | 加藤子邸 | 明治27～30年頃 | |
| 98 | 2 | 46 | 食堂ノ夜景 電光写真 | 明治27～30年頃 | 電光写真(フラッシュ)使用 |
| 99 | 2 | 47 | 向島櫻花 | 明治27～30年頃 | |
| 100 | 2 | 48 | 少女遊戯 | 明治27～30年頃 | |
| 101 | 2 | 49 | 向島櫻花 | 明治27～30年頃 | |
| 102 | 2 | 50 | 鈴ヶ森 | 明治27～30年頃 | |
| 103 | 2 | 51 | 上野 | 明治27～30年頃 | |
| 104 | 3 | 1 | 久良岐橋ヨリ西方ヲ望ム 横濱 | 明治27年頃 | |
| 105 | 3 | 2 | 武州金澤 | 明治27年頃 | |
| 106 | 3 | 3 | 上野公園櫻花 | 明治27年頃 | |

| | | | | | |
|-----|---|----|------------------|-------------|----------------------|
| 107 | 3 | 4 | 松平家別邸 王子西ヶ原 | 明治27年頃 | |
| 108 | 3 | 5 | 松平家別邸 邸内ノ畠 | 明治27年頃 | |
| 109 | 3 | 6 | 飛鳥山櫻花 | 明治27年頃 | |
| 110 | 3 | 7 | 飛鳥山櫻花 | 明治27年頃 | |
| 111 | 3 | 8 | 靖国社内櫻 | 明治27年頃 | |
| 112 | 3 | 9 | 芝公園薔薇園 | 明治27年頃 | |
| 113 | 3 | 10 | 廿七年三月御祝典 御飾菓子 | 明治27年3月9日 | 明治天皇大婚二十五年祝典で下賜されたもの |
| 114 | 3 | 11 | 埼玉縣下與野町公園ノ櫻 | 明治27年4月5日 | |
| 115 | 3 | 12 | 埼玉縣下與野町公園ノ櫻 | 明治27年4月5日 | |
| 116 | 3 | 13 | 埼玉縣下與野町公園ノ櫻 | 明治27年4月5日 | |
| 117 | 3 | 14 | 小金井橋 | 明治27年4月11日 | 口絵3 |
| 118 | 3 | 15 | 小金井ノ櫻花 | 明治27年4月11日 | |
| 119 | 3 | 16 | 小金井ノ櫻花 | 明治27年4月11日 | |
| 120 | 3 | 17 | 小金井ノ櫻花 | 明治27年4月11日 | |
| 121 | 3 | 18 | 向島長春園 | 明治27年頃 | |
| 122 | 3 | 19 | 第二分署前消防組屯集 出初式ノ節 | 明治27年頃 | |
| 123 | 3 | 20 | 千葉町千葉神社 | 明治27年頃 | |
| 124 | 3 | 21 | 浅草寺ノ鳩 | 明治27年頃 | |
| 125 | 3 | 22 | 動坂薔薇新花壇 | 明治27年頃 | |
| 126 | 3 | 23 | 染井常春園櫻草 | 明治27年4月24日 | |
| 127 | 3 | 24 | 染井常春園櫻草 | 明治27年4月24日 | |
| 128 | 3 | 25 | 染井常春園櫻草 | 明治27年4月24日 | |
| 129 | 3 | 26 | 池上本門寺五重塔 | 明治27年頃 | |
| 130 | 3 | 27 | 動坂薔薇新 | 明治27年頃 | |
| 131 | 3 | 28 | 相良子洋館 | 明治27年頃 | |
| 132 | 3 | 29 | 植文牡丹 本所四ツ目 | 明治27年4月30日 | |
| 133 | 3 | 30 | 両国橋遠景 | 明治27年頃 | |
| 134 | 3 | 31 | 目黒大黒屋藤花 | 明治27年5月2日 | |
| 135 | 3 | 32 | 目黒大黒屋庭園 | 明治27年頃 | |
| 136 | 3 | 33 | 杉田ノ渡船 | 明治27年頃 | |
| 137 | 3 | 34 | 佃沖 | 明治27年頃 | |
| 138 | 3 | 35 | 向島長春園 | 明治27年5月11日 | |
| 139 | 3 | 36 | 向島長春園 | 明治27年5月11日 | |
| 140 | 3 | 37 | 武州荒川 | 明治27年頃 | |
| 141 | 3 | 38 | 神奈川墓遠望 | 明治27年11月10日 | |
| 142 | 3 | 39 | 神奈川町 | 明治27年11月10日 | |
| 143 | 3 | 40 | 神奈川町 | 明治27年11月10日 | |
| 144 | 3 | 41 | 都田村川和中山氏花壇 | 明治27年11月10日 | |
| 145 | 3 | 42 | 都田村川和中山氏花壇 | 明治27年11月10日 | |
| 146 | 3 | 43 | 都田村川和中山氏花壇 | 明治27年11月10日 | |
| 147 | 3 | 44 | 田舎道 | 明治27年頃 | |
| 148 | 3 | 45 | 立場茶屋 | 明治27年頃 | |
| 149 | 3 | 46 | 汽車進行 | 明治27年頃 | 口絵5 |
| 150 | 3 | 47 | 江ノ島千兎ヶ淵 | 明治27年頃 | 稚兎ヶ淵か |
| 151 | 3 | 48 | 佃ノ碇船 | 明治27年頃 | |
| 152 | 3 | 49 | 佃ノ碇船 | 明治27年頃 | |
| 153 | 3 | 50 | 佃ノ渡シ | 明治27年頃 | |
| 154 | 3 | 51 | 王子西ヶ原 | 明治27年頃 | |
| 155 | 3 | 52 | 王子滝ノ川 | 明治27年頃 | |
| 156 | 4 | 1 | 武州高尾山 登山口 | 明治27年5月24日 | 本文内図7 |
| 157 | 4 | 2 | 武州高尾山上稲繩善神山門建設地 | 明治27年5月24日 | |
| 158 | 4 | 3 | 稲繩善神仮堂 | 明治27年5月24日 | |
| 159 | 4 | 4 | 武州高尾山中蛇瀧 | 明治27年5月24日 | |
| 160 | 4 | 5 | 武州八王町 | 明治27年5月24日 | 八王子町か |
| 161 | 4 | 6 | 武州八王町 | 明治27年5月24日 | 八王子町か |
| 162 | 4 | 7 | 水泳 | 明治27年頃 | |
| 163 | 4 | 8 | 遊泳 | 明治27年頃 | |
| 164 | 4 | 9 | 通運丸 | 明治27年6月7日 | |

| | | | | | |
|-----|---|------|------------------------|------------|---------------------------------|
| 165 | 4 | 10 | 江戸川帰帆 | 明治27年6月7日 | 口絵11 |
| 166 | 4 | 11 | 行徳河岸 | 明治27年6月7日 | |
| 167 | 4 | 12 | 行徳河岸 | 明治27年6月7日 | |
| 168 | 4 | 13 | 行徳徳願寺内花菖蒲 | 明治27年6月7日 | |
| 169 | 4 | 14 | 小流遊戯 | 明治27年頃 | |
| 170 | 4 | 15 | 東京毛布製造所 大崎村 | 明治27年頃 | 東京毛布製造会社（後藤毛織物製造所）か |
| 171 | 4 | 16 | 鎌倉某村隧道 | 明治27年頃 | |
| 172 | 4 | 17 | 中洲枕流館樓婢仮装 | 明治27年頃 | |
| 173 | 4 | 18 | 川越三芳天神 | 明治27年頃 | |
| 174 | 4 | 19 | 千葉縣下船橋町 | 明治27年6月7日 | |
| 175 | 4 | 20 | 千葉縣下船橋町 | 明治27年6月7日 | |
| 176 | 4 | 21 | 千葉縣下船橋町意富比神社 | 明治27年6月7日 | |
| 177 | 4 | 22 | 千葉縣下船橋町意富比神社内燈臺 | 明治27年6月7日 | 燈臺としているが、実際はそれを模した燈明台 |
| 178 | 4 | 23 | 本所植文花菖蒲 | 明治27年6月13日 | |
| 179 | 4 | 24 | 本所植文花菖蒲 | 明治27年6月13日 | |
| 180 | 4 | 25 | 本所植文養花園 | 明治27年6月13日 | |
| 181 | 4 | 26 | 本所植文養花園 | 明治27年6月13日 | |
| 182 | 4 | 27 | 本所植文賞花園 | 明治27年6月13日 | |
| 183 | 4 | 28 | 小流遊戯 | 明治27年頃 | |
| 184 | 4 | 29 | 植木屋 | 明治27年頃 | |
| 185 | 4 | 30 | 農夫灌溉 | 明治27年頃 | |
| 186 | 4 | 31 | 四ツ木吉野園 | 明治27年6月15日 | |
| 187 | 4 | 32 | 四ツ木吉野園 | 明治27年6月15日 | |
| 188 | 4 | 33 | 橋下捕魚 | 明治27年6月15日 | |
| 189 | 4 | 34 | 堀切小高花菖蒲 | 明治27年6月15日 | 小高園か |
| 190 | 4 | 35 | 堀切小高花菖蒲 | 明治27年6月15日 | |
| 191 | 4 | 36 | 堀切武蔵屋 | 明治27年6月15日 | |
| 192 | 4 | 37 | 堀切武蔵屋 | 明治27年6月15日 | |
| 193 | 4 | 38 | 堀切武蔵屋 | 明治27年6月15日 | |
| 194 | 4 | 39 | 千葉縣下稲毛海氣館 | 明治27年6月18日 | 海氣館は1888年（明治21）に開業した海水浴施設（後に旅館） |
| 195 | 4 | 40 | 千葉縣下稲毛海氣館 | 明治27年6月18日 | |
| 196 | 4 | 41 | 向島櫻花 | 明治27年頃 | |
| 197 | 4 | 42 | 大磯海濱 | 明治27年7月1日 | |
| 198 | 4 | 43 | 大磯海水浴場 | 明治27年7月1日 | |
| 199 | 4 | 44 | 大磯海濱鯨釣 | 明治27年7月1日 | |
| 200 | 4 | 45 | 築地海岸漁舟到着 | 明治27年7月15日 | |
| 201 | 4 | 46 | 網打 | 明治27年7月15日 | |
| 202 | 4 | 47 | 盆楓 佐竹侯所有 | 明治27年頃 | |
| 203 | 4 | 48 | 盆櫻 佐竹侯所有 | 明治27年頃 | |
| 204 | 4 | 49 | 王子中村屋庭園 | 明治27年頃 | |
| 205 | 4 | 50 | 京都大原女 | 明治27年頃 | |
| 206 | 4 | 51 | 廿七年征清之役收容軍艦鎮遠号横須賀ニ於テ撮影 | 明治28年8月6日 | |
| | 4 | 写真無し | 遊犬 早取 | | 題箋のみ有 |
| 207 | 5 | 1 | 官邸洋館 | 明治27年頃 | |
| 208 | 5 | 2 | 王子権現 | 明治27年頃 | |
| 209 | 5 | 3 | 王子 滝の川 | 明治27年頃 | |
| 210 | 5 | 4 | 亀井戸天神 | 明治27年頃 | |
| 211 | 5 | 5 | 羽田漁舟 | 明治27年頃 | |
| 212 | 5 | 6 | 羽田漁舟 | 明治27年頃 | |
| 213 | 5 | 7 | 小向御幸梅園 | 明治27年3月12日 | 1884年（明治17）に明治天皇が訪れた小向村の梅園か |
| 214 | 5 | 8 | 練瓦製造所 六郷河畔 | 明治27年頃 | 1881年（明治21）開業の御幸練瓦製造所か |
| 215 | 5 | 9 | 大宮氷川神社内ノ池 | 明治27年頃 | |
| 216 | 5 | 10 | 水戸偕楽園 | 明治27年頃 | |

| | | | | | |
|-----|---|------|---------------------------|-------------|-------------------------|
| 217 | 5 | 11 | 少女遊戯 | 明治27年頃 | |
| 218 | 5 | 12 | 埼玉縣下與野町公園 | 明治27年頃 | |
| 219 | 5 | 13 | 埼玉縣下與野町公園 | 明治27年頃 | |
| 220 | 5 | 14 | 埼玉縣下與野町公園 | 明治27年頃 | |
| 221 | 5 | 15 | 埼玉縣下與野町公園 | 明治27年頃 | |
| 222 | 5 | 16 | 上野公園櫻花 動物園前 | 明治27年頃 | |
| 223 | 5 | 17 | チューリップ園 動坂薔薇新 | 明治27年頃 | 口絵6 |
| 224 | 5 | 18 | 武州金澤東屋 | 明治27年頃 | |
| 225 | 5 | 19 | 武州金澤東屋 | 明治27年頃 | |
| 226 | 5 | 20 | 武州金澤千代本 | 明治27年頃 | 金沢八景にある料亭「千代本」か |
| | 5 | 写真無し | 櫻草喰裂紙 常春園 | | 題箋のみ有り。「喰裂紙」はクラソウの品種の一つ |
| 227 | 5 | 21 | 亀戸太鼓橋 | 明治27年頃 | |
| 228 | 5 | 22 | 薔薇新ノ牡丹 動坂 | 明治27年頃 | |
| 229 | 5 | 23 | 向島植半庭園 | 明治27年頃 | |
| 230 | 5 | 24 | 深川富岡八幡宮 | 明治27年頃 | |
| 231 | 5 | 25 | 館賣 | 明治27年頃 | 口絵1 |
| 232 | 5 | 26 | 農夫耕田 | 明治27年頃 | |
| 233 | 5 | 27 | 遊就館 | 明治27年頃 | |
| | 5 | 写真無し | 遊犬 | | 題箋のみ有り |
| 234 | 5 | 28 | 小金井橋 | 明治27年頃 | |
| 235 | 5 | 29 | 林亭 池上本門寺内 | 明治27年頃 | |
| 236 | 5 | 30 | 行徳々願寺 | 明治27年6月7日 | |
| 237 | 5 | 31 | 行徳二又村製塩所 当時廃業 | 明治27年6月7日 | |
| 238 | 5 | 32 | 行徳二又村製塩所 塩田 | 明治27年6月7日 | |
| 239 | 5 | 33 | 行徳二又村製塩所 塩田 | 明治27年6月7日 | |
| 240 | 5 | 34 | 行徳二又村製塩所 塩竈ノ内部 | 明治27年6月7日 | |
| 241 | 5 | 35 | 行徳二又村製塩所 塩竈ノ内部 | 明治27年6月7日 | |
| 242 | 5 | 36 | 養花園 | 明治27年頃 | |
| 243 | 5 | 37 | 主客同人 二形撮 | 明治27年頃 | |
| 244 | 5 | 38 | 佐竹侯乗馬舞鶴号 | 明治27年頃 | |
| 245 | 5 | 39 | 川喜平間寺庭園 | 明治27年頃 | 通称：川崎大師 |
| | 5 | 写真無し | 雙犬 | | 題箋のみ有り |
| | 5 | 写真無し | 狗児 | | 題箋のみ有り |
| 246 | 5 | 40 | 官邸洋館 針孔写真 | 明治27年頃 | ピンホール写真 |
| 247 | 5 | 41 | 捕魚 | 明治27年頃 | |
| 248 | 5 | 42 | 熊谷町 埼玉縣下 | 明治27年10月22日 | |
| 249 | 5 | 43 | 熊谷町 石上寺ノ池 | 明治27年10月22日 | |
| 250 | 5 | 44 | 熊谷町 熊谷寺 | 明治27年10月22日 | |
| 251 | 5 | 45 | 熊谷町 熊谷蓮生ノ墓 | 明治27年10月22日 | |
| 252 | 5 | 46 | 秋晩帰途 | 明治27年頃 | |
| 253 | 5 | 47 | 秋晩帰途 | 明治27年頃 | |
| 254 | 6 | 1 | 大和武士 二形撮 | 明治27年10月25日 | |
| 255 | 6 | 2 | 鬮碁 二形撮 | 明治27年頃 | |
| 256 | 6 | 3 | 軍隊進行 | 明治27年頃 | |
| 257 | 6 | 4 | 廿七八年征清近衛豫備召集之際富士見町ニ假設之兵站部 | 明治27年頃 | |
| 258 | 6 | 5 | 廿七八年征清之役靖國社内戦利品陳列所 | 明治27年10月10日 | |
| 259 | 6 | 6 | 廿七八年征清之役靖國社内戦利品陳列所 | 明治27年10月10日 | |
| 260 | 6 | 7 | 廿七八年征清之役平河天神社内 徴發馬廐 | 明治27年10月31日 | |
| 261 | 6 | 8 | 廿七八年征清之役平河天神社内 徴發馬廐 | 明治27年10月31日 | |
| 262 | 6 | 9 | 廿七八年征清之役 調馬 | 明治27年10月31日 | |
| 263 | 6 | 10 | 廿七八年征清之役 芝山内 近衛衛生隊練兵 | 明治27年10月31日 | |

| | | | | | |
|-----|---|----|--------------------------------------|-------------|--|
| 264 | 6 | 11 | 廿七八年征清之役 青山軍事鉄道 | 明治27年10月31日 | 青山軍用停車場は1894年（明治27）9月23日に開設 |
| 265 | 6 | 12 | 靖国社大祭諸兵参集 | 明治27年11月 | |
| 266 | 6 | 13 | 靖国社大祭諸兵参集 | 明治27年11月 | |
| 267 | 6 | 14 | 靖国社大祭諸兵参集 | 明治27年11月 | |
| 268 | 6 | 15 | 靖国社大祭諸兵参集 | 明治27年11月 | |
| 269 | 6 | 16 | 廿七年十一月靖国祭之節 近衛兵管内ニ建設玄武門裏面寢墓ヲ以テ作ル | 明治27年11月 | |
| 270 | 6 | 17 | 千葉町海濱ノ晩景 | 明治27年頃 | |
| 271 | 6 | 18 | 田舎道 一色村 | 明治27年頃 | |
| 272 | 6 | 19 | 甲冑 | 明治27年頃 | |
| 273 | 6 | 20 | 田夫將休 青梅ヨリ垢離付滝ニ至ル山中 | 明治27年11月22日 | 口絵7 |
| 274 | 6 | 21 | 垢離付滝 西多摩郡棚沢村ト小丹波村ノ境ニアリ | 明治27年11月22日 | |
| 275 | 6 | 22 | 金剛寺本堂 西多摩郡青梅町ニアリ | 明治27年11月22日 | |
| 276 | 6 | 23 | 金剛寺内誓ノ梅 其實常ニ青シ因テ此地ヲ青梅ト云 | 明治27年11月22日 | |
| 277 | 6 | 24 | 万年橋ヨリ北方ヲ望ム | 明治27年11月22日 | |
| 278 | 6 | 25 | 万年橋 青梅ヲ距ル半里二俣尾村ト下村ノ間ニ架ス長サ十五間幅五尺 | 明治27年11月22日 | |
| 279 | 6 | 26 | 廿七年十二月八日第一祝捷會上野三橋ノ景況 | 明治27年12月8日 | |
| 280 | 6 | 27 | 廿七年十二月八日第一祝捷會上野不忍池中模造清國軍艦 | 明治27年12月8日 | |
| 281 | 6 | 28 | 廿七年十二月八日第一祝捷會上野不忍池中模造清國軍艦 | 明治27年12月8日 | |
| 282 | 6 | 29 | 廿七年十二月八日第一祝捷會上野不忍池中模造清國軍艦 焼失ノ景 | 明治27年12月8日 | |
| 283 | 6 | 30 | 廿七年十二月八日第一祝捷會 玄武門 | 明治27年12月8日 | |
| 284 | 6 | 31 | 廿七年十二月八日第一祝捷會 赤十社出張所 | 明治27年12月8日 | |
| 285 | 6 | 32 | 廿七年十二月八日第一祝捷會 式場 | 明治27年12月8日 | |
| 286 | 6 | 33 | 廿七年十二月八日第一祝捷會 式場 | 明治27年12月8日 | |
| 287 | 6 | 34 | 廿七年十二月八日第一祝捷會 遠景 | 明治27年12月8日 | |
| 288 | 6 | 35 | 廿七年十二月八日第一祝捷會 會員祝宴場 | 明治27年12月8日 | |
| 289 | 6 | 36 | 廿七年十二月八日第一祝捷會 戦利品陳列所 | 明治27年12月8日 | |
| 290 | 6 | 37 | 廿七年十二月八日第一祝捷會 模造水雷艇 □夜放火セシ物 | 明治27年12月8日 | |
| 291 | 6 | 38 | 廿七年十二月八日第一祝捷會 商品陳列所 | 明治27年12月8日 | |
| 292 | 6 | 39 | 廿八年一月三日三喜町ニテ興行 リオンサジウム軽氣球瓦斯不入前 | 明治28年1月3日 | 本文内図5。リオン・サジウム氏は米国人。神田三崎町三崎座の裏手旧練兵場跡にて興行を行った。入場料は「最上金一円、上等五十銭、中等三十銭、並十五銭、軍人半額、並等に限り半額なし」と当時の新聞広告には記載されている。 |
| 293 | 6 | 40 | 廿八年一月三日三喜町ニテ興行 リオンサジウム軽氣球 少数入タル處 | 明治28年1月3日 | |
| 294 | 6 | 41 | 廿八年一月三日三喜町ニテ興行 リオンサジウム軽氣球 大ニ入タル處 | 明治28年1月3日 | |
| 295 | 6 | 42 | 廿八年一月三日三喜町ニテ興行 リオンサジウム軽氣球 将ニ飛揚セントスル處 | 明治28年1月3日 | |
| 296 | 6 | 43 | 廿七八年征清ノ役某将校持帰之戦利品 外套靴 | 明治27年12月 | |

| | | | | | |
|-----|---|----|--|-------------|-------------------------|
| 297 | 6 | 44 | 廿七八年征清ノ役某将校持帰之戦利品 上段左方ニアルハ朝珠上段右ニアル ハ紙入レ下段ニアルハ枕ノ横ニ付ル物 | 明治27年12月 | |
| 298 | 6 | 45 | 川壽平間寺内鳩 | 明治28年1月23日 | 通称：川崎大師 |
| 299 | 6 | 46 | 川壽平間寺内鳩 | 明治28年1月23日 | 通称：川崎大師 |
| 300 | 6 | 47 | 中央新聞社号外張出 | 明治27～30年頃 | 銀座四丁目、現在の三越の位置に あった。 |
| 301 | 6 | 48 | 飛鳥山 | 明治27～30年頃 | |
| 302 | 6 | 49 | 飛鳥山 | 明治27～30年頃 | |
| 303 | 6 | 50 | 飛鳥山 | 明治27～30年頃 | |
| 304 | 6 | 51 | 農家春日 | 明治27～30年頃 | |
| 305 | 6 | 52 | 農家春日 | 明治27～30年頃 | |
| 306 | 8 | 1 | 屏風浦隧道 | 明治28年2月5日 | |
| 307 | 8 | 2 | 杉田村 | 明治28年2月5日 | |
| 308 | 8 | 3 | 杉田村妙法寺 | 明治28年2月5日 | |
| 309 | 8 | 4 | 農家 | 明治27～30年頃 | |
| 310 | 8 | 5 | 農家 | 明治27～30年頃 | |
| 311 | 8 | 6 | 不忍辨天雪景 | 明治28年3月2日 | |
| 312 | 8 | 7 | 不忍辨天寺内 | 明治28年3月2日 | |
| 313 | 8 | 8 | 大宮公園 | 明治28年3月2日 | 雪景色を撮影している。 |
| 314 | 8 | 9 | 下総成田新勝寺山門 | 明治28年3月4日 | |
| 315 | 8 | 10 | 下総成田新勝寺山門 | 明治28年3月4日 | |
| 316 | 8 | 11 | 下総成田新勝寺本堂 | 明治28年3月4日 | |
| 317 | 8 | 12 | 下総成田新勝寺光明堂 | 明治28年3月4日 | |
| 318 | 8 | 13 | 下総成田新勝寺接待所 | 明治28年3月4日 | |
| 319 | 8 | 14 | 下総成田新勝寺男坂 | 明治28年3月4日 | |
| 320 | 8 | 15 | 下総成田新勝寺女坂 | 明治28年3月4日 | |
| 321 | 8 | 16 | 下総宗吾堂 印旛郡公津村 | 明治28年3月4日 | |
| 322 | 8 | 17 | 下総宗吾堂 墓碑 | 明治28年3月4日 | |
| 323 | 8 | 18 | 下総宗吾堂 寺内ノ紀念碑 | 明治28年3月4日 | |
| 324 | 8 | 19 | 佐倉ヨリ成田往復乗合馬車 | 明治28年3月4日 | |
| 325 | 8 | 20 | 萬年橋 青梅ヲ距ル半里二俣尾村ト下 村ノ間ニ架ス其長サ十五間幅五尺ナリ | 明治28年3月7日 | 口絵2 |
| 326 | 8 | 21 | 多摩川ノ景 | 明治28年3月7日 | |
| 327 | 8 | 22 | 多摩川ノ景 | 明治28年3月7日 | |
| 328 | 8 | 23 | 埼玉縣下川越町 | 明治28年3月30日 | |
| 329 | 8 | 24 | 埼玉縣下川越町 伊佐沼薬師堂 | 明治28年3月30日 | |
| 330 | 8 | 25 | 埼玉縣下川越町 愛宕神社 | 明治28年3月30日 | |
| 331 | 8 | 26 | 埼玉縣下川越町 浅間神社 | 明治28年3月30日 | |
| 332 | 8 | 27 | 埼玉縣下川越町 三芳野天神 | 明治28年3月30日 | |
| 333 | 8 | 28 | 埼玉縣下川越町 旧城玄関 當時入間 郡公會所 | 明治28年3月30日 | |
| 334 | 8 | 29 | 埼玉縣下川越町 喜多院 | 明治28年3月30日 | |
| 335 | 8 | 30 | 埼玉縣下川越町 喜多院内五百羅漢 | 明治28年3月30日 | |
| 336 | 8 | 31 | 埼玉縣下川越町 喜多院樓門 | 明治28年3月30日 | |
| 337 | 8 | 32 | 埼玉縣下川越町 喜多院内松平家廟所 | 明治28年3月30日 | |
| 338 | 8 | 33 | 埼玉縣下川越町 喜多院内東照宮 | 明治28年3月30日 | |
| 339 | 8 | 34 | 埼玉縣下川越町 喜多院内浮島稲荷 | 明治28年3月30日 | |
| 340 | 8 | 35 | 埼玉縣下川越町 氷川神社社内ヨリ喜 多院の遠望 | 明治28年3月30日 | |
| 341 | 8 | 36 | 埼玉縣下川越町 氷川神社 | 明治28年3月30日 | |
| 342 | 8 | 37 | 埼玉縣下川越町 川越太郎ノ墓 養壽 院内 | 明治28年3月30日 | |
| 343 | 8 | 38 | 埼玉縣下川越町 小萱村内田屋方奇石 | 明治28年3月30日 | |
| 344 | 8 | 39 | 春江帰帆 隅田川 | (明治28年4月9日) | |
| 345 | 8 | 40 | 上野春景 | 明治28年4月9日 | |
| 346 | 8 | 41 | 上野春景 | 明治28年4月9日 | |
| 347 | 8 | 42 | 上野春景 | 明治28年4月9日 | |
| 348 | 8 | 43 | 小石川茗荷谷町加藤泰秋子別邸 | 明治28年4月11日 | |

| | | | | | |
|-----|---|----|--|------------|------------|
| 349 | 8 | 44 | 高田面影橋 | 明治28年4月11日 | 口絵8 |
| 350 | 8 | 45 | 音羽護国寺 | 明治28年4月11日 | |
| 351 | 8 | 46 | 音羽護国寺本堂 | 明治28年4月11日 | |
| 352 | 8 | 47 | 砂村稲荷 | 明治28年4月15日 | |
| 353 | 8 | 48 | 深川元八幡宮 | 明治28年4月15日 | 砂村の富賀岡八幡宮か |
| 354 | 8 | 49 | 小流引網 | 明治27～30年頃 | |
| 355 | 8 | 50 | 田野春望 | 明治27～30年頃 | |
| 356 | 8 | 51 | 樹下ノ散歩 千駄ヶ谷別邸内 | 明治27～30年頃 | |
| 357 | 8 | 52 | 摘草 | 明治27～30年頃 | |
| 358 | 9 | 1 | 清水谷公園 | 明治28年4月22日 | |
| 359 | 9 | 2 | 清水谷公園 | 明治28年4月22日 | |
| 360 | 9 | 3 | 清水谷公園大久保侯哀悼碑 | 明治28年4月22日 | |
| 361 | 9 | 4 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 新橋停車場前ニ建設ノ大緑門 | 明治28年5月29日 | |
| 362 | 9 | 5 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 新橋停車場前ニ建設ノ大緑門 | 明治28年5月29日 | |
| 363 | 9 | 6 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 幸橋外芝區民奉迎所 | 明治28年5月29日 | |
| 364 | 9 | 7 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 議事堂側大凱旋門 | 明治28年5月29日 | 口絵9 |
| 365 | 9 | 8 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 議事堂側大凱旋門 東方ヨリ望ム | 明治28年5月29日 | |
| 366 | 9 | 9 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 議事堂側大凱旋門 東方ヨリ望ム | 明治28年5月29日 | |
| 367 | 9 | 10 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 議事堂側大凱旋門 西方ヨリ望ム | 明治28年5月29日 | |
| 368 | 9 | 11 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 議事堂側大凱旋門 北方ヨリ望ム | 明治28年5月29日 | |
| 369 | 9 | 12 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 櫻田門外大緑門 | 明治28年5月29日 | |
| 370 | 9 | 13 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 櫻田門外大緑門遠望 | 明治28年5月29日 | |
| 371 | 9 | 14 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 華族會館 | 明治28年5月29日 | |
| 372 | 9 | 15 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 新橋ノ景況 | 明治28年5月31日 | |
| 373 | 9 | 16 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 日本橋ノ景況 | 明治28年5月31日 | 口絵10 |
| 374 | 9 | 17 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 十軒店ノ景況 | 明治28年5月31日 | |
| 375 | 9 | 18 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 室町ノ景況 | 明治28年5月31日 | |
| 376 | 9 | 19 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 室町ノ景況 | 明治28年5月31日 | |
| 377 | 9 | 20 | 廿八年五月廿九日両陛下凱旋還幸之節 本町ノ景況 | 明治28年5月31日 | |
| 378 | 9 | 21 | 小流ノ四ツ手 | 明治27～30年頃 | |
| 379 | 9 | 22 | 西多摩郡羽村ノ堰玉川上水之元 | 明治28年5月16日 | |
| 380 | 9 | 23 | (西多摩郡羽村ノ堰) | 明治28年5月16日 | 題箋無し |
| 381 | 9 | 24 | 西多摩郡羽村ノ堰 | 明治28年5月16日 | |
| 382 | 9 | 25 | 西多摩郡羽村ノ堰 | 明治28年5月16日 | |
| 383 | 9 | 26 | 西多摩郡羽村ノ堰 水門 | 明治28年5月16日 | |
| 384 | 9 | 27 | (西多摩郡羽村ノ堰) | 明治28年5月16日 | 題箋無し |
| 385 | 9 | 28 | 宮中御祭典御器物上段ニアルハ平居瓶 白酒黒酒ヲ盛テ供シ奉リ下段右方ハ多 志良加御手洗水ヲ入ルル器左方ハ羹鍋 若布、蛇ノ羹ヲ入ルル器 | 明治27～30年頃 | |
| 386 | 9 | 29 | 利根鉄橋 | 明治27～30年頃 | |
| 387 | 9 | 30 | 池上本門寺千部經供養之節僧侶ノ行列 | 明治27～30年頃 | |
| 388 | 9 | 31 | (園芸写真) | 明治27～30年頃 | 題箋無し |

| | | | | | |
|-----|----|----|-----------------|---------------|--|
| 389 | 9 | 32 | 同上 (園芸写真) | 明治27~30年頃 | 「同上」の付箋のみ |
| 390 | 9 | 33 | 同上 (園芸写真) | 明治27~30年頃 | 「同上」の付箋のみ |
| 391 | 9 | 34 | 江ノ島海濱 | 明治28年6月9日 | |
| 392 | 9 | 35 | 江ノ島海濱 恵比寿屋 | 明治28年6月9日 | |
| 393 | 9 | 36 | 利根ノ帰帆 | 明治27~30年頃 | |
| 394 | 9 | 37 | 田舎渡船 | 明治27~30年頃 | |
| 395 | 9 | 38 | 新町停車場 群馬縣下 | 明治28年6月29日 | |
| 396 | 9 | 39 | 群馬縣下 紡績会社 | 明治28年6月29日 | |
| 397 | 9 | 40 | 前橋町群馬県廳 | 明治28年6月29日 | |
| 398 | 9 | 41 | 前橋町 東照宮 | 明治28年6月29日 | |
| 399 | 9 | 42 | 前橋町 神明社 | 明治28年6月29日 | |
| 400 | 9 | 43 | 前橋町 臨江閣 | 明治28年6月29日 | |
| 401 | 9 | 44 | 日光神山庭園 | 明治28年7月17~19日 | |
| 402 | 9 | 45 | 日光 荒澤ノ景 | 明治28年7月17~19日 | |
| 403 | 9 | 46 | 日光 裏見ノ瀑布 | 明治28年7月17~19日 | |
| 404 | 9 | 47 | 日光 裏見ノ瀑布 遠望 | 明治28年7月17~19日 | |
| 405 | 9 | 48 | 出初式梯乗り | 明治27~30年頃 | |
| 406 | 9 | 49 | 出初式梯乗り | 明治27~30年頃 | |
| 407 | 9 | 50 | 出初式梯乗り | 明治27~30年頃 | |
| 408 | 9 | 51 | 出初式梯乗り | 明治27~30年頃 | |
| 409 | 10 | 1 | 群馬縣下 鬼石三波石 | 明治28年6月29日 | |
| 410 | 10 | 2 | 群馬縣下 鬼石三波石 | 明治28年6月29日 | |
| 411 | 10 | 3 | 群馬縣下 鬼石三波石 | 明治28年6月29日 | |
| 412 | 10 | 4 | 群馬縣下 鬼石三波石 | 明治28年6月29日 | |
| 413 | 10 | 5 | 群馬縣下 鬼石三波石 護摩壇石 | 明治28年6月29日 | |
| 414 | 10 | 6 | 群馬縣下 鬼石三波石 鞍掛石 | 明治28年6月29日 | |
| 415 | 10 | 7 | 群馬縣下 鬼石三波石 俗石 | 明治28年6月29日 | |
| 416 | 10 | 8 | 群馬縣下 鬼石三波石 藤石 | 明治28年6月29日 | |
| 417 | 10 | 9 | 多摩郡 轟ノ滝 | 明治28年8月4日 | |
| 418 | 10 | 10 | 多摩郡 轟ノ滝 | 明治28年8月4日 | |
| 419 | 10 | 11 | 不忍辨天 | 明治28年8月12日 | |
| 420 | 10 | 12 | 不忍辨天 | 明治28年8月12日 | |
| 421 | 10 | 13 | 不忍辨天 | 明治28年8月12日 | |
| 422 | 10 | 14 | 角筈十二社水亭 | 明治28年8月16日 | |
| 423 | 10 | 15 | 角筈十二社水亭 遠望 | 明治28年8月16日 | |
| 424 | 10 | 16 | 角筈十二社水亭 滝 | 明治28年8月16日 | |
| 425 | 10 | 17 | 佐野五龍館 静岡縣下 | 明治28年8~9月 | |
| 426 | 10 | 18 | 佐野五龍館 静岡縣下 滝 | 明治28年8~9月 | |
| 427 | 10 | 19 | 佐野五龍館 静岡縣下 滝 | 明治28年8~9月 | |
| 428 | 10 | 20 | 佐野五龍館 静岡縣下 滝 | 明治28年8~9月 | |
| 429 | 10 | 21 | 五龍館ノ遠望 | 明治28年8~9月 | |
| 430 | 10 | 22 | 佐野 景ヶ島 | 明治28年8~9月 | |
| 431 | 10 | 23 | 佐野 景ヶ島 屏風岩 | 明治28年8~9月 | |
| 432 | 10 | 24 | 佐野 景ヶ島 屏風岩 | 明治28年8~9月 | |
| 433 | 10 | 25 | 大磯町高麗神社 | 明治28年8~9月 | |
| 434 | 10 | 26 | 大磯町花水橋 | 明治28年8~9月 | |
| 435 | 10 | 27 | 姥島烏帽子岩 平塚沖 | 明治28年9月4日 | |
| 436 | 10 | 28 | 姥島烏帽子岩 平塚沖 | 明治28年9月4日 | |
| 437 | 10 | 29 | 姥島烏帽子岩 平塚沖 | 明治28年9月4日 | |
| 438 | 10 | 30 | 戸田ノ鉄橋 | 明治28年10月2日 | |
| 439 | 10 | 31 | 戸田 善光寺 | 明治28年10月2日 | 廃仏毀釈により一時分割されるが、明治27年に一堂二院を合寺して改めて善光寺と称した。 |
| 440 | 10 | 32 | 農夫灌溉 田夫将休 | 明治28年頃 | 2点の写真を貼り合わせたもの。 |
| 441 | 10 | 33 | 羽田穴守稲荷 | 明治28年頃 | |
| 442 | 10 | 34 | 利根夕陽 | 明治28年頃 | |
| 443 | 10 | 35 | 貫井辨天 北多摩郡 | 明治28年9月16日 | |
| 444 | 10 | 36 | 貫井辨天 北多摩郡 | 明治28年9月16日 | |
| 445 | 10 | 37 | 拝島大日堂 北多摩郡 | 明治28年9月16日 | |

| | | | | | |
|-----|----|------|---------------------------|-------------|---|
| 446 | 10 | 38 | 拜島大日堂 寺内池中ノ鯉 | 明治28年9月16日 | |
| 447 | 10 | 39 | 弘法寺 市河 | 明治28年10月19日 | |
| 448 | 10 | 40 | 飯倉相良子邸 | 明治28年頃 | |
| 449 | 10 | 41 | 小石川植物園 | 明治28年11月2日 | |
| 450 | 10 | 42 | 小石川植物園 暖室 | 明治28年11月2日 | |
| 451 | 10 | 43 | 上州高津戸 | 明治28年頃 | |
| 452 | 10 | 44 | 上州高津戸 | 明治28年頃 | |
| 453 | 10 | 45 | 上州高津戸 | 明治28年頃 | |
| 454 | 10 | 46 | 立川普濟寺六面塔 北多摩郡 | 明治28年12月2日 | |
| 455 | 10 | 47 | 新年之我室 | 明治29年1月 | |
| 456 | 10 | 48 | 英國公使館内ピーコック氏小兒 | 明治29年頃 | |
| 457 | 10 | 49 | 英國公使館内ピーコック氏所有下総雜種馬牝 | 明治29年頃 | |
| 458 | 10 | 50 | 英國公使館内ピーコック氏所有木曾馬牝 | 明治29年頃 | |
| 459 | 10 | 51 | 陸軍輜重兵大尉山名義路男並ニ同氏清国ヨリ持帰ノ乗馬 | 明治29年頃 | |
| 460 | 10 | 52 | 陸軍輜重兵大尉山名義路男並ニ同氏清国ヨリ持帰ノ乗馬 | 明治29年頃 | |
| 461 | 12 | 1 | 埼玉縣下北足立郡石戸東光寺蒲櫻ノ遠景 | 明治29年4月11日 | |
| 462 | 12 | 2 | 埼玉縣下北足立郡石戸東光寺蒲櫻 其幹 | 明治29年4月11日 | 付箋「六百幾十年ヲ経タル古木ニテ其幹ノ周囲二丈余ニシテ梢ノ高サ四丈許四方ニ廣カリタル五六ノ枝凡ソ三十余間ナリ」 |
| 463 | 12 | 3 | 埼玉縣下北足立郡石戸東光寺蒲櫻 | 明治29年4月11日 | 付箋「往古大木ノ由后チ枯レテ其實生ヲ植付タリト云」 |
| 464 | 12 | 4 | 埼玉縣榛沢郡深谷町字萱場清心寺ノ忠度櫻 | 明治29年4月11日 | |
| 465 | 12 | 5 | 廣瀬川 群馬縣前橋市 | 明治29年4月12日 | |
| 466 | 12 | 6 | 龍海院 群馬縣前橋市 | 明治29年4月12日 | |
| 467 | 12 | 7 | 岩神社 群馬縣前橋市 | 明治29年4月12日 | |
| 468 | 12 | 8 | 岩神社飛石 | 明治29年4月12日 | 付箋「或ル年石工此石ヲ碎カントシテ鑿ヲ加ヘタルニ石中ニ人聲アリ 鑿痕ヨリ鮮血迸ル石工手足慄ヘ目ヲ閉ヂテ即死セリ故ニ土人恐レテ神トシ祭り岩神ノ構之ヨリ起ル云々」 |
| 469 | 12 | 9 | 赤城牧場支部 群馬縣前橋市 | 明治29年4月12日 | |
| 470 | 12 | 10 | 阿角櫻 群馬縣下勢多郡新川村 | 明治29年4月12日 | |
| 471 | 12 | 11 | 足利鑊阿寺山門 栃木縣下足利 | 明治29年4月12日 | |
| 472 | 12 | 12 | 鑊阿寺本堂 | 明治29年4月12日 | |
| 473 | 12 | 13 | 鑊阿寺寺内 | 明治29年4月12日 | |
| 474 | 12 | 14 | 足利学校 天長年間小野篁ノ創建 | 明治29年4月12日 | |
| 475 | 12 | 15 | 足利学校 公園ノ遠望 | 明治29年4月12日 | |
| 476 | 12 | 16 | 唐澤山神社 栃木縣下安蘇郡 | 明治29年4月13日 | |
| 477 | 12 | 17 | 唐澤山神社 本社 | 明治29年4月13日 | |
| 478 | 12 | 18 | 唐澤山神社 西方ヨリ望ム | 明治29年4月13日 | |
| 479 | 12 | 19 | 唐澤橋ヨリ唐沢山ヲ望ム | 明治29年4月13日 | |
| 480 | 12 | 20 | 佐野公園 栃木縣下安蘇郡 | 明治29年4月13日 | |
| 481 | 12 | 21 | 佐野公園 栃木縣下安蘇郡 | 明治29年4月13日 | |
| 482 | 12 | 22 | 田沼町停車場 佐野葛生停車場ノ一ナリ | 明治29年4月13日 | |
| 483 | 12 | 23 | 大間々金刀比良山 群馬縣下勢多郡 | 明治29年4月13日 | |
| 484 | 12 | 24 | 館林花山ノ躑躅 群馬縣下 | 明治29年5月3日 | |
| 485 | 12 | 25 | 館林花山 躑躅ノ碑 | 明治29年5月3日 | |
| | 12 | 写真無し | 館林花山 花下小宴 | 明治29年5月3日 | 題箋のみ有り |
| 486 | 12 | 26 | 花山ヨリ城沼ヲ望ム | 明治29年5月3日 | |
| 487 | 12 | 27 | 館林花山 善導寺山門 | 明治29年5月3日 | |
| 488 | 12 | 28 | 館林花山 善導寺本堂 | 明治29年5月3日 | |

| | | | | | |
|-----|----|------|-------------------------------|---------------|---|
| 489 | 12 | 29 | 茂林寺 有名ノ分福茶釜ノアル寺 | 明治29年5月3日 | |
| 490 | 12 | 30 | 萬年橋 府下西多摩郡沢井村より御嶽村ニ架ス | 明治29年5月19~20日 | |
| 491 | 12 | 31 | 多摩川 | 明治29年5月19~20日 | |
| 492 | 12 | 32 | 海禅寺 府下西多摩郡二俣尾村ニ在リ | 明治29年5月19~20日 | |
| 493 | 12 | 33 | 瀧ノ堂 御嶽登山口 | 明治29年5月19~20日 | |
| 494 | 12 | 34 | 御嶽山中ノ大杉 | 明治29年5月19~20日 | |
| 495 | 12 | 35 | 御嶽神社二ノ鳥居 | 明治29年5月19~20日 | |
| 496 | 12 | 36 | 御嶽神社 拜殿 | 明治29年5月19~20日 | |
| 497 | 12 | 37 | 御嶽神社 本社 | 明治29年5月19~20日 | |
| 498 | 12 | 38 | 溪畔水車 | 明治29年頃 | |
| 499 | 12 | 39 | 高輪泉岳寺 | 明治29年5月24日 | |
| 500 | 12 | 40 | 高輪泉岳寺 義士ノ墓 | 明治29年5月24日 | |
| 501 | 12 | 41 | 忠烈三士ノ墓 | 明治29年5月24日 | 付箋「明治廿九年五月十六日同寺内ニ建テラレ碑背新ニ彫リシ文左ノ如シ」 写真左横に碑文の内容を記した切り抜きが有り |
| 502 | 12 | 42 | 井ノ頭ノ池 神田上水之元 | 明治29年頃 | |
| 503 | 12 | 43 | 洋館婦人室 | 明治29年頃 | |
| 504 | 12 | 44 | 洋館客室 | 明治29年頃 | |
| 505 | 12 | 45 | 洋館食堂 | 明治29年頃 | |
| 506 | 12 | 46 | 横濱本牧ノ海濱 | 明治29年頃 | |
| 507 | 12 | 47 | 横濱本牧ノ海濱 | 明治29年頃 | |
| 508 | 12 | 48 | 横濱本牧十二社内ヨリ海上ヲ望ム | 明治29年頃 | |
| 509 | 12 | 49 | 滝浴 西ヶ原松平家別邸内 | 明治29年頃 | |
| 510 | 12 | 50 | 滝浴 西ヶ原松平家別邸内 | 明治29年頃 | |
| 511 | 12 | 51 | 廿七八年役彰功碑 | 明治29~30年頃 | 付箋「小松宮彰仁親王殿下毫額武蔵北多摩郡府中駅大國魂神社々内ニ在リ」 |
| 512 | 14 | 1 | 三宝寺ノ池 音無川水源北豊島郡下石神井村ニ在リ | 明治29年11月24日 | |
| 513 | 14 | 2 | 三宝寺ノ池 辨天堂 | 明治29年11月24日 | |
| 514 | 14 | 3 | 三宝寺ノ池 辨天堂 | 明治29年11月24日 | |
| 515 | 14 | 4 | 三宝寺ノ池 辨天堂 遠望 | 明治29年11月24日 | |
| 516 | 14 | 5 | 長命寺内大師堂 北豊島郡上練馬村 | 明治29年11月24日 | |
| 517 | 14 | 6 | 長命寺内観音堂 | 明治29年11月24日 | |
| 518 | 14 | 7 | 別所沼 埼玉縣下浦和在 | 明治29年12月3日 | |
| 519 | 14 | 8 | 埼玉縣下新座郡宗岡里イロハ樋 | 明治29年12月3日 | 付箋「宝永ノ頃領主秋元侯農耕ノ助トシテ野火留ノ用水ヲ此處ニ引キ其樋ヲ四十八段ニ掛ケタルニ依リ此称アリ」 |
| 520 | 14 | 9 | 埼玉縣下新座郡宗岡里イロハ樋 | 明治29年12月3日 | |
| 521 | 14 | 10 | 平林寺山門 新座郡野火留 | 明治29年12月3日 | |
| 522 | 14 | 11 | 平林寺佛殿 | 明治29年12月3日 | |
| 523 | 14 | 12 | 平林寺本堂 | 明治29年12月3日 | |
| 524 | 14 | 13 | 金剛寺不動堂 南多摩郡高幡村 | 明治29年12月6日 | |
| 525 | 14 | 14 | 金剛寺本堂 | 明治29年12月6日 | |
| 526 | 14 | 15 | 子安明神社 南多摩郡八王子 | 明治29年12月6日 | |
| 527 | 14 | 16 | 子安明神社 社内ノ池 | 明治29年12月6日 | |
| 528 | 14 | 17 | 報國忠魂碑 廿九年十一月廿三日 南多摩郡八王子上野原ニ建設 | 明治29年12月6日 | |
| 529 | 14 | 18 | 南多摩郡八王子上野原ヨリノ遠望 | 明治29年12月6日 | |
| 530 | 14 | 19 | (日本家屋) | 明治30年頃 | 題箋無し |
| 531 | 14 | 20 | 牛久沼渡船場 常陸国河内郡佐貫村 | 明治30年2月5日 | |
| 532 | 14 | 21 | 常陸国河内郡佐貫村 鶴笄橋 | 明治30年2月5日 | |
| | 14 | 写真無し | 常陸国河内郡新地村夕照 | 明治30年2月5日 | 題箋のみ有り |
| 533 | 14 | 22 | 常陸国河内郡新地村夕照 | 明治30年2月5日 | 口絵12 |
| | 14 | 写真無し | 常陸国河内郡新地村夕照 | 明治30年2月5日 | 題箋のみ有り |

| | | | | | |
|-----|----|------|---|------------|---|
| 534 | 14 | 23 | 金龍寺本堂 | 明治30年2月5日 | 付箋「常陸国河内郡若柴村ニ在リ新田家ノ墓提所ニシテ左方ニアル石碑ハ義貞ノ四百五十年忌ニ當リ同家ヨリ建立シタルモノ」 |
| 535 | 14 | 24 | 新田氏累世ノ墓 金龍寺寺内ニ在リ | 明治30年2月5日 | |
| 536 | 14 | 25 | 與福總社女化神祠 常陸国河内郡女化原ニ在リ | 明治30年2月5日 | |
| 537 | 14 | 26 | 與福總社女化神祠 本社 | 明治30年2月5日 | |
| 538 | 14 | 27 | 女化原ノ景 東西三里十八町南北三里 | 明治30年2月5日 | |
| 539 | 14 | 28 | 女化原ノ景 | 明治30年2月5日 | |
| 540 | 14 | 29 | 蛇沼 常陸国河内郡 | 明治30年2月5日 | |
| 541 | 14 | 30 | 蛇ノ化石 | 明治30年2月15日 | 付箋「秋田縣下由利郡諏訪峠諏訪淵近傍ニ於テ小蛇數百銀鉞ト共ニ化石ス 発見人秋田縣人作左部汀外數名」 |
| 542 | 14 | 31 | 上野公園雪景 | 明治30年頃 | |
| 543 | 14 | 32 | 上野公園南方ヨリ清水堂ヲ望ム | 明治30年頃 | |
| 544 | 14 | 33 | 上野公園北方ヨリノ眺メ | 明治30年頃 | |
| 545 | 14 | 34 | 上野公園天神山下 | 明治30年頃 | |
| 546 | 14 | 35 | 根岸御行ノ松 | 明治30年頃 | |
| 547 | 14 | 36 | 根岸御行ノ松 | 明治30年頃 | |
| 548 | 14 | 37 | 國分寺伽藍跡ノ礎石 北多摩郡国分寺村 | 明治30年3月4日 | |
| 549 | 14 | 38 | 谷保天神社 北多摩郡谷保村 | 明治30年3月4日 | |
| 550 | 14 | 39 | 谷保天神社 社内ノ石獅子 | 明治30年3月4日 | |
| 551 | 14 | 40 | 谷保天神社 社内ノ石獅子 | 明治30年3月4日 | |
| 552 | 14 | 41 | 大國魂神社 北多摩郡府中町 | 明治30年3月4日 | |
| 553 | 14 | 42 | 大國魂神社 本社 | 明治30年3月4日 | |
| 554 | 14 | 43 | 大國魂神社 社内廿七八年ノ役彰功碑 小松宮彰仁親王殿下毫額 | 明治30年3月4日 | |
| | 14 | 写真無し | 青山墓地ヨリ阿部正功子所有地ノ遠望 | 明治30年頃 | 題箋のみ有り |
| 555 | 14 | 44 | 青山墓地ヨリ阿部正功子所有地ノ遠望 | 明治30年頃 | |
| 556 | 14 | 45 | 阿部正功子別邸内ノ池 南方ヨリノ眺メ | 明治30年頃 | |
| 557 | 14 | 46 | 阿部正功子別邸内ノ池 北方ヨリノ眺メ | 明治30年頃 | |
| 558 | 14 | 47 | 阿部正功子別邸内 達摩堂 | 明治30年頃 | |
| 559 | 14 | 48 | 阿部正功子本邸三階 | 明治30年頃 | |
| 560 | 14 | 49 | (夫婦と子供の写真) | 明治30年頃 | 題箋無し |
| 561 | 15 | 1 | 茨城縣下北相馬郡岡村佛島ノ古墳 廿八年十一月開墾ノ節 発見ノ石槨並ニ土器ノ破片 | 明治30年3月 | 現在の取手市にある仏島山古墳を写したもの |
| 562 | 15 | 2 | 茨城縣下北相馬郡岡村佛島ノ古墳 遠望 | 明治30年3月 | |
| 563 | 15 | 3 | 下總国北相馬郡岡村在或ル寺ノ念佛棚 | 明治30年3月 | |
| 564 | 15 | 4 | 小貝川 下總国北相馬郡岡村 | 明治30年3月 | |
| 565 | 15 | 5 | 小貝川 東方ヨリ水神祠ヲ望ム | 明治30年3月 | |
| 566 | 15 | 6 | 小貝川 岡堰 | 明治30年3月 | |
| 567 | 15 | 7 | 小貝川 水神祠 | 明治30年3月 | |
| 568 | 15 | 8 | 小貝川 水神祠 | 明治30年3月 | |
| 569 | 15 | 9 | 小貝川 水神祠ヨリ竹橋ノ遠望 | 明治30年3月 | |
| 570 | 15 | 10 | 延命寺ヨリ岡堰ノ遠望 | 明治30年3月 | |
| 571 | 15 | 11 | 延命寺ヨリ水神祠ヲ望ム | 明治30年3月 | |
| 572 | 15 | 12 | (鉄道橋) | 明治30年頃 | 題箋無し |
| 573 | 15 | 13 | 茨城縣下西茨城郡東那珂村青柳ノ櫻花 | 明治30年4月14日 | |
| 574 | 15 | 14 | 茨城縣下西茨城郡東那珂村磯邊ノ櫻花 | 明治30年4月14日 | |
| 575 | 15 | 15 | 茨城縣下西茨城郡東那珂村 稲村神社 | 明治30年4月14日 | |
| 576 | 15 | 16 | 富谷観音堂ノ遠望 | 明治30年4月14日 | |
| 577 | 15 | 17 | 富谷観音堂 本堂ノ側面 | 明治30年4月14日 | 付箋「聖武天皇ノ勅願ニ依リ行基僧正ノ開基セシ所ナリ」 |

| | | | | | |
|-----|----|----|----------------------------------|---------------|---|
| 578 | 15 | 18 | 富谷観音堂 三重ノ塔 | 明治30年4月14日 | 付箋「天平開創以来ノ古建築物ニシテ世ノ最モ珍トスル所ナリ」 |
| 579 | 15 | 19 | 北方ヨリ千駄ヶ谷私邸ノ遠望 | 明治30年4月21日 | |
| 580 | 15 | 20 | 北方ヨリ千駄ヶ谷私邸ノ遠望 | 明治30年4月21日 | |
| 581 | 15 | 21 | 千駄ヶ谷私邸ヨリ北方ヲ望ム | 明治30年4月21日 | |
| 582 | 15 | 22 | 千駄ヶ谷私邸 邸内ノ櫻花 | 明治30年4月21日 | |
| 583 | 15 | 23 | 千駄ヶ谷私邸 青岡樹林 | 明治30年4月21日 | |
| 584 | 15 | 24 | 千駄ヶ谷私邸 池 | 明治30年4月21日 | |
| 585 | 15 | 25 | 千駄ヶ谷私邸 二階 | 明治30年4月21日 | |
| 586 | 15 | 26 | 曙山ノ遠望 下総国南相馬郡富勢村 | 明治30年4月23日 | |
| 587 | 15 | 27 | 布施東海寺ノ遠望 下総国南相馬郡富勢村 | 明治30年4月23日 | |
| 588 | 15 | 28 | 曙山ヨリ東海寺ヲ望ム | 明治30年4月23日 | |
| 589 | 15 | 29 | 東海寺山門 | 明治30年4月23日 | |
| 590 | 15 | 30 | 東海寺本堂 | 明治30年4月23日 | |
| 591 | 15 | 31 | 東海寺鐘楼 | 明治30年4月23日 | |
| 592 | 15 | 32 | 子ノ権現 下総国南相馬郡吾孫子 | 明治30年4月23日 | |
| 593 | 15 | 33 | 子ノ権現 社内ヨリ手賀沼ノ遠望 沼ノ廣サ東西三里南北三十町余 | 明治30年4月23日 | |
| 594 | 15 | 34 | 日暮里花見寺ノ躑躅花 | 明治30年5月11日 | |
| 595 | 15 | 35 | 日暮里花見寺 茶店 | 明治30年5月11日 | |
| 596 | 15 | 36 | 道灌山 | 明治30年5月11日 | |
| 597 | 15 | 37 | 西ヶ原松平家別邸内ノ藤棚 | 明治30年5月11日 | |
| 598 | 15 | 38 | 法華経寺山門 下総東葛飾郡中山村 | 明治30年5月20日 | |
| 599 | 15 | 39 | 法華経寺 寺内ノ五重塔 | 明治30年5月20日 | |
| 600 | 15 | 40 | 法華経寺 祖師堂 | 明治30年5月20日 | |
| 601 | 15 | 41 | 法華経寺 鬼子母神堂 | 明治30年5月20日 | |
| 602 | 15 | 42 | 葛飾明神祠 下総東葛飾郡葛飾村 | 明治30年5月20日 | |
| 603 | 15 | 43 | 葛飾明神祠 社内ノ葛羅井 | 明治30年5月20日 | |
| 604 | 15 | 44 | 勝間田ノ池 下総東葛飾郡葛飾村 | 明治30年5月20日 | |
| 605 | 15 | 45 | 慈恩寺観音堂 武蔵南埼玉郡慈恩寺村 天長年間慈覚大師ノ建立 | 明治30年6月19日 | |
| 606 | 15 | 46 | 慈恩寺 南蛮鉄ノ古燈籠 | 明治30年6月19日 | 付箋「天正年間伊達房實ノ寄附スル所ニシテ其ヒブクロハ関東大乱ノ節遺失セシト云」 |
| 607 | 15 | 47 | 慈恩寺 御手洗ノ池 | 明治30年6月19日 | |
| 608 | 15 | 48 | 慈恩寺 御手洗ノ池 池畔慈覚大師手植ノ松 | 明治30年6月19日 | |
| 609 | 15 | 49 | 題経寺 府下南葛飾郡芝又 | (明治30年6月18日) | 通称：柴又帝釈天 |
| 610 | 15 | 50 | 題経寺 山門 | (明治30年6月18日) | 通称：柴又帝釈天 |
| 611 | 15 | 51 | 題経寺 本堂 | (明治30年6月18日) | 通称：柴又帝釈天 |
| 612 | 15 | 52 | (書の写真) | 明治30年頃 | 題箋無し |
| 613 | 16 | 1 | 能仁寺羅漢山 武蔵入間郡飯能 | 明治30年7月6日 | |
| 614 | 16 | 2 | 飯能町 武蔵入間郡 | 明治30年7月6日 | |
| 615 | 16 | 3 | 武蔵入間郡多能主山ノ遠望 右方ニ在ル小ナル石碑ハ黒田直邦ノ墓ナリ | 明治30年7月6日 | |
| 616 | 16 | 4 | 入間川町 武蔵入間郡 | 明治30年7月6日 | |
| 617 | 16 | 5 | 高麗寺 入間郡高麗川村ニ在リ | 明治30年7月6日 | |
| 618 | 16 | 6 | 高麗寺内高麗王ノ墓 | 明治30年7月6日 | |
| 619 | 16 | 7 | 高麗川ヨリ高麗寺ノ遠望 | 明治30年7月6日 | |
| 620 | 16 | 8 | 平潟湾 常陸国多賀郡 | 明治30年9月19日 | |
| 621 | 16 | 9 | 平潟湾 常陸国多賀郡 | 明治30年9月19日 | |
| 622 | 16 | 10 | 平潟湾 常陸国多賀郡 | 明治30年9月19日 | |
| 623 | 16 | 11 | 平潟海岸 | 明治30年9月19日 | |
| 624 | 16 | 12 | 鐘鼓洞 多賀郡大津町字五浦海濱危岸ノ下ニ在リ | 明治30年9月19～20日 | |
| 625 | 16 | 13 | 鐘鼓洞 續キ | 明治30年9月19～20日 | |
| 626 | 16 | 14 | 佐波々地祇神社 大津町佐波山ニ鎮ス | 明治30年9月19～20日 | |

| | | | | | |
|-----|----|----|--|---------------|---|
| 627 | 16 | 15 | 天妃山ノ遠望 入間郡磯原大北川ノ河口水中ニ在リ高サ五六丈周廻三町余 | 明治30年9月19~20日 | |
| 628 | 16 | 16 | 天妃山ノ遠望 | 明治30年9月19~20日 | |
| 629 | 16 | 17 | 二ツ島 天妃山ノ北十五町ニ在リ高サ十丈東西十五間南北八間 | 明治30年9月19~20日 | |
| 630 | 16 | 18 | 黒浦ノ洞門 平潟ヨリ菊田郡九面村ニ至ル通路安永四年ニ為リシ所 | 明治30年9月19~20日 | |
| 631 | 16 | 19 | 九面ノ海濱 磐城国菊田郡 | 明治30年9月19~20日 | |
| 632 | 16 | 20 | 勿来ノ濱 磐城国菊田郡 | 明治30年9月19~20日 | |
| 633 | 16 | 21 | 勿来ノ濱 磐城国菊田郡 | 明治30年9月19~20日 | |
| 634 | 16 | 22 | 勿来ノ濱 磐城国菊田郡 | 明治30年9月19~20日 | |
| 635 | 16 | 23 | 勿来関趾ノ遠望 左方松樹ノアル所 | 明治30年9月19~20日 | |
| 636 | 16 | 24 | 勿来関ノ碑 | 明治30年9月19~20日 | |
| 637 | 16 | 25 | (勿来関ノ碑) | 明治30年9月19~20日 | 題箋無し |
| 638 | 16 | 26 | 勿来関ノ碑 碑文ノ石摺表面 | 明治30年9月19~20日 | |
| 639 | 16 | 27 | 勿来関ノ碑 裏面 | 明治30年9月19~20日 | |
| 640 | 16 | 28 | (諏訪神社) 本社 | 明治30年10月14日 | |
| 641 | 16 | 29 | 諏訪神社内ノ大楠樹 | 明治30年10月14日 | 付箋「長生郡土陸村上ノ郷ニ在リ樹幹凡ソ十八圍高サ壹丈余地上ニ現ハレタル盤根半ハ化シテ石トナリ幹心腐朽シテ空洞ヲナシ廣サ大約七八人ヲ坐セシムルニ足ル稀有ノ大樹ナリ」 |
| 642 | 16 | 30 | 南宮神社 長生郡八積村宮原ニ在リ左方ニアルハ皮部ノ松 | 明治30年10月14日 | |
| 643 | 16 | 31 | 南宮神社前皮部ノ松 樹幹空心ニシテ空洞深ク | 明治30年10月14日 | 付箋「樹幹空心ニシテ空洞深ク土中ニ達シ唯樹皮ノ抱合セルニ抛リ繁茂ス」 |
| 644 | 16 | 32 | 南宮神社前皮部ノ松 基幹 | 明治30年10月14日 | |
| 645 | 16 | 33 | 一宮本郷 上総国長生郡 | 明治30年10月14日 | |
| 646 | 16 | 34 | 銚子観音堂 下総国海上郡 | 明治30年10月22日 | |
| 647 | 16 | 35 | 下総国海上郡 川口明神社内ヨリ銚子港ノ遠望 | 明治30年10月22日 | |
| 648 | 16 | 36 | 下総国海上郡 黒生濱ヨリ目途カ鼻ノ遠望 | 明治30年10月22日 | |
| 649 | 16 | 37 | 犬吠岬燈臺 | 明治30年10月22日 | 付箋「海上郡豊浦村字高神ノ東端ニ在リ明治七年ノ建設ニシテ高サ九丈海面を抽出スルヲ十六丈八尺燈光旋轉白色ニシテ三十秒毎ニ一閃光ヲ發シ光芒能ク十九哩余ニ達スト云フ」 |
| 650 | 16 | 38 | 犬吠岬 霧ヶ濱ヨリ燈臺ヲ望ム | 明治30年10月22日 | |
| 651 | 16 | 39 | 犬吠岬 胎内潜リ 前方ニアル大石ハ両三年前暴風雨ノ節墜落セシト云燈臺下北方ニ在リ | 明治30年10月22日 | |
| 652 | 16 | 40 | 犬吠岬 暁雞館前ヨリノ遠望 | 明治30年10月22日 | |
| 653 | 16 | 41 | 長崎カ鼻 犬吠岬ノ南方ニ在リ | 明治30年10月22日 | |
| 654 | 16 | 42 | 長崎カ鼻 | 明治30年10月22日 | |
| 655 | 16 | 43 | 下総国海上郡豊浦村字高神所在ノ魚油搾取機 | 明治30年10月22日 | |
| 656 | 16 | 44 | 仙ガ窟 | 明治30年10月22日 | 付箋「豊浦村ニアリ海岸ヲ距ルー町許水面ヲ抽出スルヲ凡四五丈周廻大約二百間乾潮ノ時ハ歩シテ達シ得ベシ」 |
| 657 | 16 | 45 | 犬若島 仙ガ窟ノ南方ニ在リ | 明治30年10月22日 | |
| 658 | 16 | 46 | 東方ヨリ犬若島ノ眺メ | 明治30年10月22日 | |
| 659 | 16 | 47 | (海岸に座る二人の男性) | 明治30年頃 | 題箋無し |
| 660 | 16 | 48 | (牡丹の花) | 明治30年頃 | 題箋無し |
| 661 | 16 | 49 | (牡丹の花) | 明治30年頃 | 題箋無し |
| 662 | 18 | 1 | 七條停車場 | 明治27~30年頃 | |

| | | | | | |
|-----|----|----|------------------------|-----------|------|
| 663 | 18 | 2 | 八坂神社 | 明治27～30年頃 | |
| 664 | 18 | 3 | 八坂神社本社 | 明治27～30年頃 | |
| 665 | 18 | 4 | 八坂神社石壇下 | 明治27～30年頃 | |
| 666 | 18 | 5 | 若王子熊野神社 | 明治27～30年頃 | |
| 667 | 18 | 6 | 南禅寺内ノ水路閣 疎水分線 | 明治27～30年頃 | |
| 668 | 18 | 7 | 智恩院本堂 | 明治27～30年頃 | |
| 669 | 18 | 8 | 清水山門 | 明治27～30年頃 | |
| 670 | 18 | 9 | 清水寺観音堂 | 明治27～30年頃 | |
| 671 | 18 | 10 | 清水寺内ノ塔 | 明治27～30年頃 | |
| 672 | 18 | 11 | 三十三間堂 | 明治27～30年頃 | |
| 673 | 18 | 12 | 大佛 | 明治27～30年頃 | |
| 674 | 18 | 13 | 大佛耳塚 | 明治27～30年頃 | |
| 675 | 18 | 14 | 豊國神社 | 明治27～30年頃 | |
| 676 | 18 | 15 | 京都博物館 | 明治27～30年頃 | |
| 677 | 18 | 16 | 黒谷光明寺 | 明治27～30年頃 | |
| 678 | 18 | 17 | 黒谷光明寺本堂 | 明治27～30年頃 | |
| 679 | 18 | 18 | 黒谷光明寺内熊谷鎧掛ノ松 | 明治27～30年頃 | |
| 680 | 18 | 19 | 永観堂 | 明治27～30年頃 | |
| 681 | 18 | 20 | 山端 | 明治27～30年頃 | |
| 682 | 18 | 21 | 宇治平等院鳳凰堂 | 明治27～30年頃 | |
| 683 | 18 | 22 | 宇治平等院鳳凰堂 | 明治27～30年頃 | |
| 684 | 18 | 23 | 宇治平等院鳳凰堂 釣殿 | 明治27～30年頃 | |
| 685 | 18 | 24 | 宇治平等院鳳凰堂 扇芝 | 明治27～30年頃 | |
| 686 | 18 | 25 | 宇治平等院鳳凰堂 頼政ノ墓 | 明治27～30年頃 | |
| 687 | 18 | 26 | 宇治橋ノ遠望 | 明治27～30年頃 | |
| 688 | 18 | 27 | 宇治川 | 明治27～30年頃 | |
| 689 | 18 | 28 | 黄檗山萬福寺樓門 | 明治27～30年頃 | |
| 690 | 18 | 29 | 黄檗山萬福寺山門 | 明治27～30年頃 | |
| 691 | 18 | 30 | 宇治興聖寺 | 明治27～30年頃 | |
| 692 | 18 | 31 | 宇治興聖寺本堂 | 明治27～30年頃 | |
| 693 | 18 | 32 | 宇治 縣神社 | 明治27～30年頃 | |
| 694 | 18 | 33 | 男山八幡宮三ノ鳥居 | 明治27～30年頃 | |
| 695 | 18 | 34 | 男山八幡宮二ノ門 | 明治27～30年頃 | |
| 696 | 18 | 35 | 男山八幡宮本社 | 明治27～30年頃 | |
| 697 | 18 | 36 | 男山八幡宮本社 | 明治27～30年頃 | |
| 698 | 18 | 37 | 男山八幡宮 石清水 | 明治27～30年頃 | |
| 699 | 18 | 38 | 長岡天神 | 明治27～30年頃 | |
| 700 | 18 | 39 | 長岡天神前 放生池 | 明治27～30年頃 | |
| 701 | 18 | 40 | 長岡天神前 放生池 池畔ノ茶亭 | 明治27～30年頃 | |
| 702 | 18 | 41 | 長岡天神前 放生池 池畔ノ茶亭 南方ヨリ望ム | 明治27～30年頃 | |
| 703 | 18 | 42 | 保津川落合ノ景 | 明治27～30年頃 | |
| 704 | 18 | 43 | 保津川落合ノ景 | 明治27～30年頃 | |
| 705 | 18 | 44 | 別邸省耕樓 東北ヨリ望ム | 明治27～30年頃 | |
| 706 | 18 | 45 | 別邸省耕樓 吟松 | 明治27～30年頃 | |
| 707 | 18 | 46 | (寺社の山門) | 明治27～30年頃 | 題箋無し |